

日本化学会第 92 春季年会 (2012) のご案内

第 92 春季年会実行委員会

主催	日本化学会
共催	慶應義塾大学理工学部
会期	2012年3月25日(日)～28日(水)
会場	慶應義塾大学日吉キャンパス・矢上キャンパス(神奈川県横浜市港北区日吉)
実行委員長	西山 繁(慶應義塾大学理工学部・教授)
日程と内容	3月25日(日): AP・ATP・受賞講演・特別企画・ポスター・展示会 3月26日(月): AP・ATP・受賞講演・ポスター・展示会・会長講演・表彰式・懇親会 3月27日(火): AP・ATP・受賞講演・ポスター・展示会・ATPポスター・ATP交流会 3月28日(水): AP・ATP・受賞講演・特別企画
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 会期前 電話(03)3292-6163 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 会期中 電話/FAX(045)563-3515 ※3月24日～28日 URL: http://www.csj.jp/nenkai/92haru/

上記のとおり、日本化学会第92春季年会(2012)が開催されます。多くの会員の皆様が、本年会にご参加下さいますようお願い申し上げます。本号では、①当日登録、②会期中併催のイベント・シンポジウム情報、③特別企画・特別講演・学会賞・ATPのプログラムをご案内申し上げます。なお、総合受付は日吉キャンパス来住舎のみとなりますので、ご注意ください。

1. 当日登録のご案内

本年会への参加をご希望される方は、年会会場内の総合受付(日吉キャンパス)にて参加登録手続きを行って下さい。参加登録費は下表のとおりです。ただし、本誌P274～P279に掲載の併催イベントへの参加の場合、本年会への参加登録は原則不要です。詳細は掲載ページにてご確認ください。

表1: 参加登録費等

会員区分	料金	課税区分
正会員	14,500円	不課税
正会員割引*1	9,500円	
学生会員(化学と工業を配布)	5,500円	
教育学生会員*2	6,500円	
学生会員割引*3	3,500円	
教育会員	6,500円	課税
ATP講演者(一般)	14,500円	
ATP講演者(非会員学生)	7,500円	
非会員	25,500円	
入会準備学部学生*4	2,000円	

*1 満60歳以上で定職に就いていない方(通称:シニア会員)

*2 化学と教育を選択した学生会員

*3 学部3年以内の方(専攻科1年以下の高専生を含む)(通称:ジュニア会員)

*4 研究発表を行わない非会員(未入会)の大学の学部学生及び高等専門学校の学生が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集

DVD-ROMは含まない。当日登録の際には学生証(コピー可)を必ずご掲示下さい。

表2: 予稿集代・懇親会費

内容	料金	課税区分
講演予稿集(I分冊)*5	2,500円	課税
〃(II～IV分冊)*5	各3,500円	
〃(4冊セット)*5	10,000円	
〃(DVD-ROM)	10,000円	
懇親会費(一般)	6,000円	
〃(学生)	2,000円	

*5 予稿集I～IVの収録内容はウェブサイトにてご確認ください。

2. 携帯情報端末からのプログラム検索

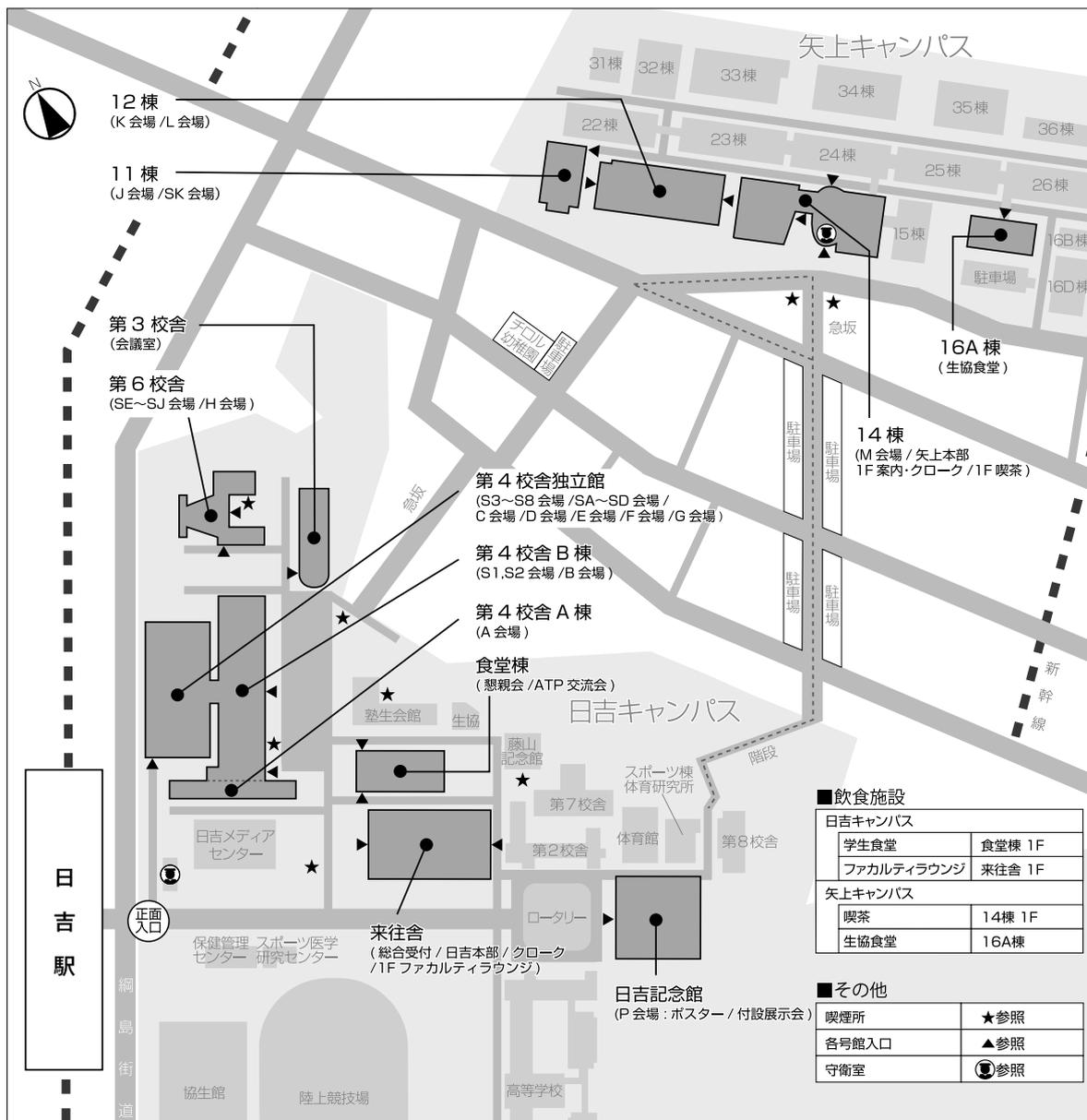
携帯情報端末からの年会プログラム検索が可能です。キーワードによる検索や、講演の日時、会場別の表示などができます。以下のサイトにアクセスして下さい。

<http://csj.jp/i/>

二次元バーコード(QRコード)対応の携帯電話をお持ちの方は、以下のバーコードを撮影して、年会プログラム検索のWebページへアクセスすることが可能です。使用方法につきましては、各ページのヘルプメニューをご覧ください。なお、講演会場内では、携帯電話の電源はOFFにされますようお願い申し上げます。



日本化学会 第92春季年会 慶應義塾大学 日吉・矢上キャンパス校舎配置図



注意1) 駐車場は使用できません。
注意2) 日吉及び矢上キャンパスへの移動は、-----のルートをご利用ください。

会場案内

■日吉キャンパス

会場記号	号館
総合受付	来往舎
クローク	来往舎
試写コーナー	第4校舎独立館 3F
印刷/LANコーナー	第4校舎独立館 3F
S1・S2会場	第4校舎B棟
S3~S8会場	第4校舎独立館
SA~SD会場	第4校舎独立館
SE~SJ会場	第6校舎
A会場	第4校舎A棟
B会場	第4校舎B棟

■矢上キャンパス

会場記号	号館
印刷/試写/LANコーナー	12棟 1F
案内・クローク	14棟 1F
SK会場	11棟
J会場	11棟
K会場	12棟
L会場	12棟
M会場	14棟
矢上本部	14棟 2F

会場記号	号館
C会場	第4校舎独立館
D会場	第4校舎独立館
E会場	第4校舎独立館
F会場	第4校舎独立館
G会場	第4校舎独立館
H会場	第6校舎
ATP交流会	食堂棟 1F
懇親会	食堂棟 1F
日吉本部	来往舎

日本化学会第92春季年会

建物名・フロア	教室名	会場記号	3月25日AM	P	3月25日PM	3月26日AM	P	3月26日PM		
第4校舎 A棟 (日吉)	4	J441	A1	02-物理化学-構造			PB	02-物理化学-構造		
		J442	A2	04-物理化学-反応			PA			
		J443	A3	04-物理化学-反応			PA			
		J444	A4	21.理論・情報・計算化学	PC	21.理論・情報・計算化学			アジア国際シンポジウム(理論・情報・計算Div)	
		J445	A5	03-物理化学-物性			PB	03-物理化学-物性		
		J446	A6	11.分析			PB	11.分析		
		J447	-	休憩室						
第4校舎 B棟 (日吉)	1	J11	S1	学会賞		学会賞		中) 生体関連化学の新展開		
		J14	B1	06.錯体化学・有機金属化学	PB	06.錯体化学・有機金属化学				
	2	J21	S2	学会賞		学会賞		中) プラズモニク化学		
第4校舎 独立館 (日吉)	B2F	DB201	S3/C1	企) ケムバイオケミストリー		委) 中西シンポ		T2C-プリントドエレクトロニクス		
		DB202	S4/C2			委) 博士セミナー		委) 震災復興への歩み		
		DB203	S5/C3			市民講座		T5B-燃料電池・水素エネ		
	1	D101	C4	19.エネルギー	PC	19.エネルギー		ATP特別パネル / T5C		
		D201	S6/C5	企) 液相ナノ反応場	中)	材料化学構築学		T4A-省エネ・省資源		
	2	D202	S7/C6	企) 遷移金属元素と典型元素	中)	複合系光機能の最前線		T1B-ナノインプリント		
		D203	S8/C7	企) ものづくり合成戦略	中)	元素戦略		T1C-微細パターン形成		
		D205	SA/C8	企) 次世代低分子創薬	中)	柔らかい電子デバイス		T4C-炭素資源		
		D301	D1	20-環境・グリーンケミストリー、地球・宇宙化学						
	D302	-	試写室							
	D303	D2	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	D304	D3	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	D305	-	印刷・LANコーナー							
	D306	D4			PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	D307	SB/D5	T3C-バイオミメティック							
	D308	D6	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	D309	D7	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		PC	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	D310	SC/E1	企) 持続可能な社会を支える化学		委)	化学遺産市民公開講座		09.天然物		
	D311	SD/E2			委)	男女共同参画シンポ		09.天然物		
	D312	E3				09.天然物		PC		
	D401	F1	05.無機化学		PB	05.無機化学				
	D402	-	休憩室							
	D403	F2			PC			19.エネルギー		
	D404	F3								
	D406	F4	15.材料化学					アジア国際シンポジウム(ナノテク・材料化学Div)/15		
	D407	F5	13.触媒					PC		
	D408	F6			PB					
	D409	F7			PB			06.錯体化学・有機金属化学		
	D410	F8	16.材料の機能							
	D411	G1	13.触媒					PC		
	D412	G2	06.錯体化学・有機金属化学		PB	06.錯体化学・有機金属化学				
	D413	G3	17.材料の応用							
	来往舎 (日吉)	1	イベントテラス	-	総合受付					
			ギャラリー	-	クローク					
			シンポジウムスペース	-	日吉本部					
	第6校舎 (日吉)	1	J611	SE/H1	06.錯体化学・有機金属化学	PB	06.錯体化学・有機金属化学		委) 論文誌シンポジウム	
			J612	SF/H2	01-化学教育			01-化学教育		委) シングルサーベイヤ研究
			613	SG						委) 高次分子科学
			614	SH				委) 化学教育フォーラム		会長講演、表彰式
		2	623	SJ				委) JST国際シンポジウム		
			621,622	-	休憩室					
		3	J631	H3				14.コロイド・界面化学		
	J632		H4				14.コロイド・界面化学			
	J634		H5				14.コロイド・界面化学			
	記念館 (日吉)	-	-	P	付設展示会/ポスター					
	11棟 (矢上)	B1	11-21	J1	12.高分子			PA	12.高分子	
			11-22	J2	12.高分子			PA	12.高分子	
			11-24	-	休憩室					
		1	11-31	SK	委) エルゼビア Reaxysセミナー		中)	グリーンケミストリーへの新戦略		
		2	11-41	J3			PA	08C.有機化学-複素環化合物		
12棟 (矢上)	1	12-101	K1	08G.有機化学-有機電子移動化学				08H.有機化学-ハイスループット合成		
		12-102	K2			PA	08F.有機化学-有機光化学			
		12-103	K3			PA	08B.有機化学-芳香族化合物			
		12-104	K4	08D.有機化学-ヘテロ原子化合物						
		12-105	K5	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物						
		12-106	-	印刷・試写・LANコーナー/休憩室						
		12-108	K6	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物						
		12-109	K7	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物						
		12-110	K8	08E.有機化学-有機金属化合物						
		12-210	L1	08E.有機化学-有機金属化合物						
		12-211	L2	08E.有機化学-有機金属化合物						
14棟 (矢上)	2	14-201	M1	07A.有機化学-構造と物性			PA			
		14-202	M2	07A.有機化学-構造と物性			PA			
		14-203	M3	07A.有機化学-構造と物性			PA			
		14-204	M4	07A.有機化学-構造と物性			PA			
	1	1階ロビー	-	案内・矢上クローク						
2	211	-	矢上本部							
建物名・フロア	教室名	会場記号	3月25日AM	P	3月25日PM	3月26日AM	P	3月26日PM		

●分類名の前の数字/記号…[01-22…アカデミック・プログラム], [T1-T6…ATP], [企…特別企画], [中…中長期テーマ], [委…委員会企画]

●会場記号…[企, 中, 委)の実施時のみS1~SK会場として使用。それ以外はA1~M4会場として使用

●ポスター…記念館(日吉キャンパス)にて3月25日-27日の3日間実施。時間帯はPA(10:00-11:30), PB(12:30-14:00), PC(15:00-16:30)の3種類

※そのほかに ATPポスター及びJST国際シンポジウムのポスターのみ PD(16:00-17:30)

会期中の併催イベント

会長講演・表彰式

日時：3月26日(月) 13:40-15:20
会場：SG会場(第6校舎1階613教室)

プログラム
13:40- 会長講演「科学の夢交配と化学の展望」(平成22, 23年度
会長) 岩澤康裕
14:20- 表彰式

スプリングコンサート2012

日時：3月26日(月) 16:00-17:00
会場：SG会場(第6校舎1階613教室)

化学オーケストラ：日本化学会会員を中心として、広く化学関係者により2002年に結成された音楽団体で、例年、日本化学会春季年会会期中に「スプリングコンサート」を開催しています。今回は、昨年9月のドイツ化学会年会オープニングセレモニー(於：ドイツ・ブレーメン)や、同10月の千代田区オーケストラフェスティバル(於：大手町・日経ホール)において演奏した曲を織り交ぜながら、親しみやすいクラシック音楽でお楽しみいただきます。

曲目：モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲、ブラームス/ハンガリー舞曲集(第1・5・6番)、ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲、J. シュトラウスII/ワルツ「春の声」。

参加費：無料

付設展示会：昨年のドイツ化学会年会オープニングセレモニーにおける記念演奏(日独交流150周年記念行事)の報告と、化学オーケストラ設立10周年記念に関するブースを出展いたします。あわせてお立ち寄り下さい。

問合せ先：日本化学会事務局 保倉光邦
E-mail: hokura@chemistry.or.jp

懇親会

日時：3月26日(月) 18:00-20:00
会場：日吉キャンパス 学生食堂

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、ぜひお誘いあわせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般6,000円、学生2,500円

申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

ATP交流会

日時：3月27日(火) 18:00-19:30
会場：日吉キャンパス 学生食堂

ATP講演やATPポスターの会場で足りなかったディスカッションを補い、より親密な交流につなげてもらう場として、ATP交流会を設けました。

交流会の中では、今期新設したATPポスターの中から審査・選考された「ATP注目ポスター」を発表し、記念品贈呈も行われます。ATPポスター発表者の皆様はもとより、産業界、学生も含めたアカデミア、国研など、産学官の多くの皆様にご参加いただき、新たな交流やネットワークづくりに役立てていただければと

思います。アルコールやソフトドリンクと軽食を用意して、お待ちしております。のどをうるおしながら、化学の『夢』を大いに語り合ひましょう。

参加費：無料

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。

事前申込みは不要ですので、直接会場へお越し下さい。

市民公開講座 ～科学で未来をきり拓く～

日時：3月25日(日) 13:15-17:00
会場：S5会場(第4校舎独立館DB203教室)

日本化学会第92春季年会(2012)実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

13:20- 宇宙は無数にあるのか?—物理学の描く新たな宇宙像—
(自然科学研究機構・機構長/東大・名誉教授) 佐藤勝彦
14:10- 東日本大震災と巨大津波(東大地震研・教授) 古村孝志
15:20- 眠る植物と食虫植物の科学—不思議な生物現象の化学—
(東北大院理・教授) 上田 実
16:10- 太陽光と水からつくる無限のクリーンエネルギー—人工
光合成への挑戦—(東大院工・教授) 堂免一成

参加費：無料

申込方法：事前申込み不要。当日会場にて受付。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

【緊急企画】 福島第一原子力発電所事故から 1年：環境放射線(能) モニタリングデータの検証

日時：3月28日(水) 9:30-11:30
会場：S5会場(第4校舎独立館DB203教室)

東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生してからほぼ1年が経過した。事故発生当時、発表された環境モニタリングデータの確からしさの確認がなされていなかったことも含め、いまだ事故直後の環境中の放射能の状況が詳細に把握されていない。そのような中で、環境モニタリングデータが埋もれないように、できるだけ早い時期にデータの確からしさを検証し、データベース化することにより、確度の高い情報発信を世界に向けて発信する必要がある。そこで日本放射化学会では「福島プロジェクト」を昨年11月に立ち上げ、データ収集を開始しているところである。本企画では、モニタリング結果にかかわるいくつかの報告を最新の情報を交えて行う。

プログラム

09:30- 趣旨説明(日本放射化学会会長、原子力機構) 永目諭一郎
09:35- 文部科学省「福島土壌調査」：全国大学等の連携による土壌調査プロジェクトの経緯と概要(阪大) 篠原 厚
10:05- 放射性物質の環境における分布と農産物への移行：現地での調査から分かってきたこと(学習院大) 村松康行
10:35- 環境放射線モニタリングの方法と問題点および今後の見通し(京大) 高宮幸一
10:50- 雨水および水道水からの放射性物質の除去方法(原子力機構) 安田健一郎
11:05- 農作物のモニタリングと調理加工による除染方法(放医研) 田上恵子

11:15- 総合討論:どのようなモニタリングデータが求められているのか?

参加費: 年会参加登録者に限る。

申込方法: 事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ: 日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催: 日本化学会

共催: 慶應義塾大学理工学部

協力: (株)化学工業日報社

後援: 日本科学機器団体連合会・社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会

日時: 3月25日(日)~27日(火) 10:00-17:00 (最終日のみ17:30まで)

会場: 慶應義塾大学 日吉キャンパス【日吉記念館】

参加費: 無料

出展社: (1月23日現在)

RSC (英国化学会), (株)アイシス, (株)アサイラムテクノロジー, 朝日分光(株), アステック(株), (株)アポロウエーブ, (株)アントンパール・ジャパン, 米国法人 Wavefunction, Inc., ウシオ電機(株), HPC システムズ(株), ACS Publications, (株)エス・ディー・エス, (株)エル・エム・エス, エルゼビア・ジャパン(株), オーシャン フォトニクス(株), 大塚電子(株), オプトシリウス(株), 化学オーケストラ (Orchestra Chimica), 独立行政法人科学技術振興機構, 一般社団法人化学情報協会, (株)化学同人, カクタス・コミュニケーションズ(株), 関東化学(株), (有)桐山製作所, クワ産業(株), (株)グローブボックス・ジャパン, (株)講談社サイエンティフィック, 光明理化学工業(株), コクヨS&T(株), コンプレックス(株), サンユー電子(株), シグマアルドリッチ ジャパン(株), 四国計測工業(株), システム・インストルメンツ(株), 柴田科学(株), ジャパンハイテック(株), シュプリンガー・ジャパン(株), シュレーディング(株), 純正化学(株), シリス ジャパン(株), 新科産業(有), (株)スギヤマゲン, 日本ゼオン(株), (株)セントラル科学貿易, (株)ダイセル, 大陽日酸(株), WDB(株), (株)中央理化, (株)デジタルデータマネジメント, Taylor & Francis Group (CRC Press), (株)テクネックス工房, (株)テンキューブ研究所, (株)東京インストルメンツ, (株)東京化学同人, 東京化成工業(株), トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株), (株)中村超硬, ナカライテック(株), 公益社団法人日本化学会 会員委員会, 公益社団法人日本化学会 学術情報部, 公益社団法人日本技術士会 化学部会, 日本電子(株), 日本分光(株), 日本分析工業(株), ノーザンサイエンスコンサルティング(株), バイオタージ・ジャパン(株), (株)パキューブランド サイエンティフィック ジャパン, 浜松ホトニクス(株), (株)ピアンソン桐原, ビー・エー・エス(株), ヒドラス化学(株), (株)ヒューリンクス, 富士シリシア化学(株), 富士通(株), プルカー・エイエックスエス(株), プルカー・ダルトニクス(株), プルカー・バイオスピン(株), (株)フレックス, 丸善(株)卸営業部, 丸善出版(株), 山善(株), ユサコ(株), (株)UNICO, (株)ユニソク, (株)ライトストーン, (株)リガク, (株)変化システム, (株)レッチェ, (株)ワイエムシイ, ワイリー・ジャパン, 和光純薬工業(株), 渡辺化学工業(株)

Reaxysセミナー ~合成化学研究の効率化を 目指して~

主催: エルゼビア・ジャパン(株)

日時: 3月25日(日) 10:00-11:40

会場: SK 会場 (矢上キャンパス 11 棟 11-31 教室)

本セミナーでは、世界最大規模の反応・化合物データベース、Reaxys (リアクシス) の最新情報をご案内するとともに、ユーザーの先生方から実際の研究における活用例をご紹介します。現在お使いの皆様には活用方法の新たな発見を、導入をご検討中の方々は研究効率の飛躍的な改善のヒントをご提案します。

Reaxys は、有機化学、無機化学、有機金属・錯体分野の合成反応や実測物性値を取録し、2009年にリリースされた世界最大規模のデータベースです。ケミストの皆様が日々直面する様々な課題

の解決一確実で最適な合成法の選択、条件違いの反応の比較検討、類似反応の抽出、ノイズの除去などをサポートし、同時利用者数の制限がなく使い勝手のよいベンチサイドツールとして、大学や企業での導入が進んでいます。

プログラム

10:00- 開会挨拶 (慶大理工・教授) 垣内史敏

10:10- Reaxys 最新情報 (エルゼビア) 齋藤美里

10:30- 事例① 天然物の全合成研究における Reaxys 活用法(仮) (慶大理工・助教) 佐藤隆章

11:00- 事例② 有機金属錯体の研究における Reaxys 活用法(仮) (阪大院工・助教) 大橋理人

11:30- Q&A

参加費: 無料

申込方法: 直接会場へお越し下さい。

問合せ: エルゼビア・ジャパン(株) マーケティング

電話(03)5561-5034

E-mail: jp.pr@elsevier.com

その他: 書籍展示ブース(日吉記念館)の Reaxys デモにもぜひお立ち寄り下さい。

中西シンポジウム2012

主催: 日本化学会 天然物化学・生命科学ディビジョン, 中西シンポジウム実行委員会

日時: 3月25日(日) 13:30-17:30

会場: S3 会場 (第4校舎独立館 DB201 教室)

中西シンポジウムは、日本化学会と米国化学会との取決めにより偶数年度は日本で、奇数年度は米国にて選考されるナカニシプライズの受賞講演を含み、該当国で交互に開催されている。本ブライズは生物活性天然物の単離、構造解析、生物機能、生合成及び全合成分野での顕著な研究業績を対象に選考され、本年度は本化学会に設置された選考委員会によって、上村大輔教授(神奈川大学教授)に授与されることに決定した。よって本企画は選考理由である「海洋天然物の生物有機化学的研究における貢献」に基づき、受賞者による講演に加えてこれに関連する最新の研究成果を周辺分野の研究者に紹介していただく。

プログラム

13:30- ナカニシプライズ授賞式 会長 岩澤康裕より授与
ナカニシプライズ 2012 授賞者 上村大輔

14:00- 海綿由来の新しい医薬シーズの探索(阪大院薬) 小林資正

14:30- ラジカル反応を基軸とする複雑天然物の合成
(東大院薬) 井上將行

15:10- 感染症の制御に向けた化学からのアプローチ
(東北大院生命) 有本博一

15:40- Retrospect on the Stereochemistry Assignment of the Marine Natural Product Palytoxin (ハーバード大) 岸 義人

16:20- 受賞講演
生物現象に着目した生物活性天然物の探索研究
(神奈川大理) 上村大輔

参加費: 無料

申込方法: 事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ: 日本化学会 企画部 井樋田

電話(03)3292-6163

E-mail: ihida@chemistry.or.jp

第6回化学遺産市民公開講座

企画: 日本化学会化学遺産委員会

主催: 日本化学会・化学史学会

共催(予定): 日本化学工業協会

日時: 3月25日(日) 13:00-17:00

会場: SC 会場 (第4校舎独立館 D310 教室)

化学遺産委員会では、一昨年度から化学関連の学術遺産あるいは化学技術・産業遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な資料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し第1回として6件を、また第2回として4件をそれぞれ認定・顕彰した。平成23年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として対応しいものを選定し、対象候補20数件を委員会ですらに調査・検証作業を行っ

た。今回の市民公開講座では、本年度第3回化学遺産として認定された具体的内容を紹介する。

プログラム

開会挨拶・紹介『日本化学会化学遺産委員会その活動の現状』（日本化学会化学遺産委員会委員長／京都大学名誉教授・岡山理科大学教授）植村 榮

講演1 認定化学遺産 11：大学博物館による化学遺産の発掘：眞島利行ウルシオール研究関連資料

（大阪大学理事・副学長）江口太郎

講演2 認定化学遺産 12：田丸節郎資料（写真および書簡集）

（東京大学名誉教授）田丸謙二

講演3 認定化学遺産 13：鈴木梅太郎ビタミン B₁ 発見関係資料

（東京大学名誉教授）荒井綜一（予定）

講演4 認定化学遺産 14：日本の合成染料工業発祥に関するベンゼン精製装置

（本州化学工業(株)）交渉中

講演5 認定化学遺産 15：日本初期の塩化ビニル樹脂成形加工品（アロン化成(株)ものづくりセンター長）増田紀之

講演6 認定化学遺産 16：現代にも生きる国産合成繊維ピロンの系譜

（日本化学会フェロー）田島慶三

講演7 認定化学遺産 17：小野田セメント徳利寮が語るもの

（元太平洋セメント(株)小野田工場長）台信富寿

開会挨拶（日本化学会化学遺産委員会顧問）三浦勇一

参加費：無料。講演資料代1,000円（予価）

申込方法：化学遺産市民公開講座参加希望と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX、E-mailを明記し下記宛お申し込み下さい。当日参加もできます。

問合せ先：日本化学会 企画部 化学遺産委員会係

FAX(03)3292-6318

E-mail: chemarch@chemistry.or.jp

企業で活躍する博士たち

主催：日本化学会 産学交流委員会 産学人材交流小委員会

日時：3月25日（日）13:00-17:20

会場：S4会場（第4校舎独立館DB202教室）

科学技術で生き残りを図る日本において、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、学においても産においても高度な知識と研究開発力を持った博士人材が非常に期待されています。一方で、博士課程在学生在に企業・社会を実際に学ぶ機会が少なく、産に目を向ける場面が少ないのが実情です。また、産においても博士の活用に数居が高い企業がまだあります。日本化学会では、平成19年度より、化学系学生を対象に「博士セミナー」を開催し、産業界をもっと知ってもらおう試みを行ってきました。今回は、企業の中で活躍する博士たちを紹介することで、より一層産業界での博士の活躍の場を増やしたいと考えております。

なお、セミナーの対象者は、博士課程在籍者、博士課程進学希望の修士課程在籍者、ポスドク研究者及び博士セミナーに関心をお持ちの産学官の皆様とともに、博士の採用を検討している企業関係の方を考えています。

プログラム

13:00-13:30 博士研究者に対する期待

長瀬公一氏（産学人材交流小委員会委員長、東レ株式会社）

13:40-14:40 イノベーションの期待

府川伊三郎福井工業大学教授（元旭化成）

14:50-17:20 企業の若手博士研究者による研究開発事例紹介とパネル討論

参加費：無料

申込方法：事前登録不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 松原

電話(03)3292-6163

E-mail: matsubara@chemistry.or.jp

未来を拓く社会からのメッセージ ～あなたのキャリアデザインのために～

主催：日本化学会男女共同参画推進委員会

日時：3月25日（日）14:00～17:00

会場：SD会場（第4校舎独立館D311教室）

男女共同参画社会の実現を目指して日本化学会ではこれまでに11回のシンポジウムを開催するとともに提言を行ってきました。国際社会と比較して一層の努力が必要であるものの、日本においても男女共同参画社会実現に向けた組織と意識の変化が進んでいるのも事実です。一方、東日本大震災をきっかけとして、日本は新たな生活スタイルや価値観の構築を模索しています。

本シンポジウムでは、これまでの女性の社会進出を振り返りつつ、男女共同参画が進む組織の運営とその実施経験から学び、今後の展望を共有します。特に、これから社会へ飛翔する若手の人生選択においてヒントとなる知識や価値観の提供を目指します。

プログラム

14:00- 開会挨拶 平成22、23年度日本化学会会長 岩澤康裕

14:05- 趣旨説明（シンポジウム実行委員長）宍戸 厚

基調講演

14:10- 夢と化学とライフデザイン

（男女共同参画推進委員会委員長・東海大名誉教授）佐々木政子
依頼講演：組織の仕組み、育児と仕事の両立経験、新展開

14:50- 資生堂リサーチセンター：“Gender Equal Society”を目指して（資生堂 研究管理部 総務室長）石野章博

15:10- NTT研究所の男女共同参画の取り組みと私のワークライフバランス（NTTマイクロシステムインテグレーション研究所）上野祐子

15:30- 共働きのワークライフバランスについて～イクメン研究者の日常～（豊田中研無機材料研究部）濱口 豪

15:50- 人材戦略としての女性社員活躍推進（三井化学人事部）小林洋子

16:10- 大学等の“男女共同参画推進”状況と私自身の仕事と生活バランス（東工大産学連携推進本部）林ゆう子

16:30- 開会挨拶（男女共同参画推進委員会担当理事）栗原和枝

参加費：無料。懇親会（同日17時より、生協食堂）無料

申込方法：E-mailまたは当日受付

事前申込：http://event.csj.jp/danjo/

問合せ先：日本化学会 企画部 井樋田

電話(03)3292-6163

E-mail: danjo@chemistry.or.jp

第19回化学教育フォーラム 新教育課程への期待とその課題

主催：日本化学会 教育・普及部門

日時：3月25日（日）13:30-17:30

会場：SH会場（第6校舎614教室）

中・高等学校では、来年度より新教育課程に移行する。新しい学習指導要領では、小・中・高等学校の系統性が重視されるとともに、理科学習の柱の一つとして「粒子」が挙げられ、中学校3年ではイオンが復活した。現行の教育課程において、中学校でイオンが削除された際には、高等学校の化学や生物でイオン学習やそれを前提とした内容が扱いきれないとする意見があった。現在、中学校では移行措置が3年目に入り、中学校でイオンを学習した生徒が高等学校にも入っている。そこで、イオンなど粒子概念を導入し、一連の問題解決の能力を育んだことによる影響を、中・高等学校の先生方を中心に検証し、さらに、小学校から大学までを通して、新しい教育課程への期待とその課題を探りたい。

プログラム

1. 開会の挨拶 教育・普及部門 部門長 下井 守

2. 趣旨説明 化学教育フォーラム企画小委員会

委員長 松原静郎

全体司会 化学教育フォーラム企画小委員会

委員 鮫島朋美

<13:35-14:55>

3. 科学的な思考力、表現力等の育成を目指して～粒子概念を中心に～
初等中等教育局教育課程課教科調査官 林 誠一

4. 粒子概念の育成を柱とした新しい教育過程
東京学芸大学附属世田谷中学校 教諭 宮内卓也

<15:05-15:55>

5. 高等学校からの意見（仮題）

千葉県立千葉東高等学校教諭 北川輝洋

6. 小学校からの意見（仮題）

渋谷区立広尾小学校 主幹教諭 板木孝悦

7. 大学からの意見（仮題）

筑波大学 教授 守橋健二

8. 大学からの意見 (仮題) 法政大学 教授 山崎友紀
<16:15-17:30>
9. フォーラム 司会
化学教育フォーラム企画小委員会委員 莊司隆一, 柳澤秀樹
10. 閉会の挨拶 普及・交流委員会委員長 齊藤幸一
参加費: 無料
申込方法: 事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 企画部 大倉
電話(03)3292-6163
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

3.11被災地の復興への歩み —安全な教育・研究環境を求めて

主催: 日本化学会東日本大震災被災者支援委員会
共催: 日本化学会東北支部
日時: 3月26日(月) 9:00-12:00
会場: S4会場(第4校舎独立館B2F DB202教室)

日本化学会東北支部大会で「東北地方の化学教育・研究の被災状況に関する情報交換と今後の対策」を目的として開催されたシンポジウム(2011年9月16日)の内容を基に、年会の場を借り東北支部の共催を得て、同様の趣旨のシンポジウムを全国の会員向けに計画したものです。先のシンポジウムでは、実験室の被害の状況や地震に対する備えなどの紹介はもちろんのこと、免震構造を導入して被害を免れた東北薬科大学の取り組みや、地盤の弱い旧北上川沿いにある石巻専修大学が90mまで鉄杭を打ち込んでいたため被害を受けなかったという報告が話題になりました。これら免震構造建築や堅牢な建物についての報告では、建築設計の工夫によって地震被害が有効に軽減できることを示しており、今後の化学実験棟設計に対する指針に大きく活用できる内容です。このような事実をもっと広く会員に知っていただくとともに、さらには小中高校の被災状況と理科教育の実現等も考慮した化学に特徴的な問題や課題などを具体的かつ包括的に議論し、今後の実効性のある防災対策への一助となることを目指しています。

プログラム

- 09:00-09:05 開会の挨拶(日本化学会東北支部・支部長)(東北大院理)河野裕彦
09:05-09:30 震災への備えとその後の対応: 東北大学・大学院理学研究科の場合(東北大院理)寺田眞浩
09:30-09:55 東日本大震災での石巻専修大学の状況(石巻専修大理工)指方研二
09:55-10:20 東日本大震災で威力を發揮した免震機構—東北薬科大学の事例(東北薬大)吉村祐一
10:20-10:30 休憩
10:30-10:55 東日本大震災からの復興を目指して—福島県立高等学校の被災の状況とその後の対応(福島県教育センター)猪股一教
10:55-11:20 被災学校の現状と日本化学会の化学教育復興への取り組み(筑波大数理)赤阪 健
11:20-11:50 総合討論会
11:50-12:00 総括及び閉会の挨拶(日本化学会東日本大震災被災者支援委員会・委員長)赤阪 健
参加費: 無料
申込方法: 事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 東北支部 事務局
電話/FAX(022)224-3883
E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp

「新しい研究評価時代の 情報発信とは」日本化学会 論文誌シンポジウム2012

主催: 日本化学会 学術情報部
日時: 3月26日(月) 9:30-12:30
会場: SE会場(6号館J611教室)

日本化学会学術情報部門では、論文誌の在り方についてここ数年真剣な議論を繰り返しています。欧米に数々の有力誌がある中で、日本からの化学情報発信の意義とは何でしょうか。一方電子ジャーナル等学術情報の電子化とwebを通じた相互連携が浸透するにつれて、機関や個人の研究評価も複合的に定量化される時

代となりました。さらに、日本学術振興会が長年にわたって行ってきた学術誌の支援も大きな改革が予定されています。新たな研究評価環境と支援体制を見据えながら、日本化学会の論文誌はどのような道を目指すべきか、会員や関係者の皆様を交えた議論を行いたいと思います。

プログラム

1. 開会の挨拶 平尾俊一(学術情報部門長)
2. 企画主旨説明
3. 速報誌(Chemistry Letters)の現状と展望 檜山為次郎(速報誌編集委員長)
4. web of scienceから研究評価ツールと研究者支援サービスへ 棚橋佳子(トムソン・ロイター)
5. Science Directから研究評価ツールと未来の論文へ 高橋昭治(エルゼビア)
6. 科研費成果公開促進費学術定期刊行物の改訂について 小山内 優(日本学術振興会研究事業部長)
7. 欧文誌(BCSJ)の現状と展望 入江正浩(欧文誌編集委員長)
8. Q&A, デイスカッション
9. 閉会の挨拶
(演者及び内容は変更になる場合があります)

参加費: 無料

申込方法: ①年会に参加登録をされた方: 参加証を携帯の上、会場へお越し下さい。②それ以外の方は以下を参照下さい。
<http://csj.jp/journals/event/2012/sympo03.html>

問合せ先: 日本化学会 学術情報部 電子ジャーナル係
電話(03)3292-6165
E-mail: ejournals@chemistry.or.jp

第2次先端ウォッチング: シングルセル解析による 生命科学の新潮流

主催: 日本化学会学術研究活性化委員会
共催: シングルサーバイヤ研究会
日時: 3月26日(月) 13:30-17:30
会場: SE会場(第6校舎J611教室)

生命科学分野の解析技術はここ10年で飛躍的な進歩を遂げている。これらの先端技術を駆使することによって未知なる細胞機能が明らかになってきた。その中から、細胞個々に特性があることが見いだされ、シングルセルの生物学の必要性が指摘されている。本企画では、シングルセルバイオロジーに必要な、化学、工学、生物学等の幅広い分野の先生方に、シングルセル解析技術の現状と展望、さらにはアウトプットの側面から、シングルセル解析による医学、生物学研究の進展に関して報告していただく。

プログラム

- 13:30- はじめに(早大理工)竹山春子
13:50- 1細胞中のmRNA計測技術(日立製作所 中央研)神原秀記
14:20- 細胞内生体分子動態の網羅的実測定量への挑戦(京大院農)植田充美
14:50- ES細胞分化プロセスのバイオセンシング: 1細胞解析から細胞チップ開発まで(阪大院工)民谷栄一
15:20- Microcavity arrayを用いた単一細胞集積化技術(東農工大)松永 是
16:00- 抗原特異的リンパ球の単一細胞レベルでの解析とその利用(富山大院医学薬学・生命融合科学教育)岸 裕幸
16:30- 造血幹細胞の1細胞網羅的遺伝子解析(東京女子医大院医)大和雅之
17:00- 血液を循環するエクソソームによる新規診断方法の可能性(国立がん研究センター)落谷孝広
17:30- 終わりに(日立製作所 中央研)神原秀記
参加費: 無料(希望者には報告書を1,000円で配布)
申込方法: 事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 企画部 美園
電話(03)3292-6163
E-mail: misono@chemistry.or.jp

第2次先端ウォッチング 高次分子システムのための 分子科学：実験と理論の挑戦

主催：日本化学会学術研究活性化委員会
日時：3月26日(月) 13:00-17:30
会場：SF会場(第6校舎J612教室)

近年、生体系や超分子化学などで極めて高い機能を実現する高次分子システムの存在が明らかになってきている。これらは複数の分子が協調的に連動することで極めて効率よく精緻な機能が実現されており、この高次な機能を実現する機能のメカニズムを分子論的に解明することは21世紀の化学が担う大きな命題である。そこで高次分子システムに対する研究の現状とその展望を論じる先端ウォッチングを企画する。実験側からは分子科学とその関連分野で発達した計測法とその成果、理論からは高次分子システムを解明するための最新の分子科学理論を概観し、両者の協調による高次分子システムへの挑戦を展望する。

プログラム

- 13:00-13:10 趣旨説明(東工大資源研) 藤井正明
13:10-13:30 界面の高次分子システムを観る一プロローブ顕微鏡(神戸大院理) 大西 洋
13:30-13:50 シミュレーションとNMRの融合研究による水中の糖鎖構造ダイナミクスの解析(理研) 杉田有治
13:50-14:10 凝縮系ダイナミクス(分子研) 斉藤真司
14:10-14:30 クラスタ分光で探る水の構造(東北大院理) 藤井朱鳥
14:30-14:50 芳香環ナノ空間を作る高次分子システム(東工大資源研) 吉沢道人
14:50-15:10 休憩
15:10-15:30 生体高次分子システム—実験からの挑戦(阪大院理) 水谷泰久
15:30-15:50 低温一分光によるタンパク質へのアプローチ(東大院理) 松下道雄
15:50-16:10 1分子実験を読み解くための新しい実践型分子理論を目指して(北大電子研) 小松崎民樹
16:10-16:30 同符号マクロイオン間の実効引力とSupraparticle Chemistry(九大院理) 秋山 良
16:30-16:50 光生物学システムの励起状態と機能の理論的アプローチ(京大院工) 長谷川淳也
16:50-17:30 パネルディスカッション：高次分子システムへの挑戦(理研) 田原太平、(東大分生研) 北尾彰朗、(九大院理) 関谷 博、(東工大資源研) 藤井正明
参加費：無料(希望者には報告書を1,000円で配布)
申込方法：事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先：日本化学会 企画部 美園
電話(03)3292-6163
E-mail: misono@chemistry.or.jp

JSTさきがけ研究領域合同 国際シンポジウム 「持続する社会を先導する光科学： 環境・エネルギー・機能材料」

主催：科学技術振興機構(JST)・日本化学会
共催(予定)：日本化学工業協会
日時：3月26日(月)・27日(火)
会場：SJ会場(第6校舎623教室)

太陽光エネルギーなど自然再生エネルギーの本格的な利用が喫緊の課題となっている。平成20~22年度発足した科学技術振興機構さきがけ4研究領域「光の利用と物質材料・生命機能」「太陽光と光電変換機能」「光エネルギーと物質変換」「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」では、「光の利用とエネルギー、物質変換」を共通項として、人類にとって最大の危機とされる資源・エネルギー、環境問題に積極的に取り組んでいる。このうち「光エネルギーと物質変換」研究領域では、一昨年3月の日本化学会第90春季年会で第1回国際シンポジウム「光エネルギーと物質変換：人工光合成の未来」を開催し、日本化学会会員を中心に500名を超える参加者

を集め、この問題への関心の高さが示され好評を博した。そこで第2回目となる今回は、化学関連のさきがけ4研究領域合同のシンポジウムを企画した。具体的には、①2010年ノーベル化学賞受賞者による特別メッセージ、②4研究領域を含む広く若手研究者へのメッセージとしての基調講演、③さきがけ4研究領域における世界最先端研究者による特別講演、④研究領域の研究総括による研究領域の紹介、⑤4研究領域研究者による研究の現状と将来展望の研究発表・討論、で構成する。これにより、さきがけ4研究領域の研究の現状と研究課題の重要性及び研究領域への参画を春季年会参加若手研究者に広く情報発信し、4研究領域を含む化学関連研究者への科学的刺激とさらなる研究推進に資する。

プログラム

第1日【3月26日(月)】

- 09:45- 特別メッセージ1：さきがけ研究に期待するもの(科学技術振興機構顧問) 北澤宏一
10:00- 基調講演：若手研究者に必要なセンス 光触媒研究を例として(東京理科大学長) 藤嶋 昭
○JST さきがけ研究領域・研究紹介
藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出
10:40- 研究領域紹介(研究総括/東京農工大学長) 松永 是
11:00- 特別講演：Genomics-Enabled Exploration of the Metabolic Secrets of Marine Diatoms (Director of Environmental and Evolutionary Genomics Institute of Biology, Ecole Normale Supérieure (ENS) Paris, FRANCE) Chris Bowler
11:45- 研究紹介
① Perspectives of research on increasing photosynthesis in cyanobacteria by overcoming the limitations of CO₂-fixing enzyme, RuBisCO (奈良先端大) 蘆田弘樹
② Photosystem reaction by using near infrared light (東京理科大) 鞘 達也
③ Biofuel production in CO₂-absorbing microalgae *Euglena gracilis* (阪府大) 中澤昌美
14:00- JST さきがけ/CREST 事業紹介(科学技術振興機構イノベーション推進本部)
○JST さきがけ研究領域・研究紹介
光の利用と物質材料・生命機能
14:30- 研究領域紹介(研究総括/奈良先端大物質創成科学研究科特任教授) 増原 宏
14:50- 特別講演：Multiscale, Superresolved, Ultrasensitive Optical Molecular Imaging (The Dean Willard Chair in Chemistry and Biochemistry, Dept. of Chemistry and Biochemistry, Dept. of Physiology, California NanoSystems Institute, UCLA) Shimon Weiss
15:35- 研究紹介
① In-situ Optical Observation for Elucidating Antifreeze Mechanism of Water by Proteins (北大) 佐崎 元
② Cell and micro-organism manipulations with photo-functional and photo-controllable proteins (名大) 須藤雄気
③ Time-dependent molecular orbital imaging with an soft-Xray laser pulse (早大) 新倉弘倫
17:30- 交流会：飲物・軽食等を準備しミキサー風を実施予定。参加費1,500円(予定)。

第2日【3月27日(火)】

- JST さきがけ研究領域・研究紹介
太陽光と光電変換機能
10:00- 研究領域紹介(研究総括/九州工大生命体工学研究科教授) 早瀬修二
10:20- 特別講演：Novel Materials and Techniques for Producing Flexible Dye Sensitized Solar Cells on Plastic Substrates (Monash Univ. Australia Professor) Yi-Bing Cheng
11:05- 研究紹介
① Near-IR Dye Sensitization of Polymer Solar Cells (京大) 大北英生
② Dynamics of Multiple Exciton Generation in PbS Quantum Dots (電通大) 沈 青
③ Creation of new type solar cells using chalcopyrite phosphide semiconductors (京大) 野瀬嘉太郎
13:30- 特別メッセージ2：Tandem ZACA-Pd-Catalyzed Cross-Coupling as Widely Applicable and Selective Routes to Chiral Organic Compounds (2010 ノーベル化学賞受賞者・米国パデュー大学特別教授) 根岸英一
○JST さきがけ研究領域・研究紹介
光エネルギーと物質変換
14:00- 研究領域紹介(研究総括/首都大東京戦略研究センター教授) 井上晴夫
14:20- 特別講演：Bio-inspired Solar Energy Conversion (Dept. of

Chemistry and Biochemistry, Center for Bio-Inspired Solar Fuel Production, ASU Regents' Professor) Devens Gust

15:05- 研究紹介

① Development of Large Photofunctional Porphyrin Arrays (京大) 荒谷直樹

② Biological methane production and anaerobic oxidation of methane (マックスプランク陸生微生物学研) 嶋 盛吾

③ Development of visible-light-responsive photocatalyst systems toward solar hydrogen production (北大) 阿部 竜

16:05- 閉会挨拶 (日本化学会会長・電気通信大学教授・東京大学名誉教授) 岩澤康裕

16:10-17:30 ポスターセッション 於 慶応義塾大学日吉キャンパス日吉記念館

さがけ4 研究領域研究者によるポスター発表。ポスター発表の演題・発表者は春季年会プログラムをご覧ください。

参加費：無料

申込方法：JST さがけ「光エネルギーと物質変換」研究領域 HP からお申し込みいただくか、または JST 合同シンポジウム参加希望と明記し、①氏名、②所属・職位、③連絡先住所・郵便番号・電話・FAX、E-mail を明記し下記宛お申し込み下さい。当日参加も可能です。なお、本シンポジウムのみ参加希望の場合には春季年会の参加登録は不要です。

問合せ先：192-0397 八王子市南大沢 1-1

首都大学東京プロジェクト研究棟 302 号室 科学技術振興機構さがけ「光エネルギーと物質変換」領域事務所
電話(042)653-3415 FAX(042)653-3416
E-mail: tamaki@chem-conv.jst.go.jp

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2012

主催：日本化学会・Wiley-VCH

日時：3月27日(火) 10:30-11:20

会場：H5 会場 (第6校舎 J634 教室)

日本の化学関係 8 学協会の雑誌として刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は、2011 年より日本化学会の雑誌としてリニューアルしました。Wiley-VCH との本格的な提携によりインパクトファクターも着実に向上しております。山本編集委員長による新しい編集体制の下、本年も年会時に TCR Lecture を開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

プログラム

10:30- Non-Covalent Synthesis of Complex Supramolecular Systems, Prof. Dr. E. W. Meijer (Institute for Complex Molecular Systems, Eindhoven Univ. of Technology)

参加費：無料 (年会登録者に限る)

申込方法：事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 学術情報部 TCR 係

電話(03)3292-6165

E-mail: tcr@chemistry.or.jp

化学の夢ロードマップ

主催：日本化学会学術研究活性化委員会

日時：3月27日(火) 13:30-16:30

会場：SA 会場 (第4校舎独立館 D205 教室)

環境・エネルギー・医療など、人類が抱える諸問題の解決は、今や焦眉の急となっている。その回答を用意し得る学問として、化学に寄せられている期待は極めて大きい。一方で、他学問分野との融合・連携、産業構造の変化、アジア諸国の台頭など、化学を取り巻く環境は急速に変化している。

こうした状況を受け、日本化学会では「30 年後の化学が目指す姿」を設定すべく、「化学の夢ロードマップ」の編纂に取り組んできた。ここに寄せられたアイデアを元に、今後化学が成し得ること、成すべきことは何か、本セッションにおいて討論を行う。

プログラム

13:30- 趣旨説明 (神奈川大理) 上村大輔

13:40- 日本学術会議「我が国初の科学の夢ロードマップ：科学者が描く現在・未来の課題」(日本化学会会長、21 期日本学術会議第3部(理学・工学)部長) 岩澤康裕

14:10- 化学の夢ロードマップ：化学の貢献 (学術研究活性化委員会委員長、東大院理教授) 中村栄一

14:40- 論文データから見た日本の化学の動向分析 (トムソン・ロイター社) 古林奈保子

15:20- パネル討論

参加費：無料 (希望者に資料頒布。2,000 円)

申込方法：当日直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 美園

電話(03)3292-6163

E-mail: misono@chemistry.or.jp

第29回化学クラブ研究発表会

主催：日本化学会関東支部

後援：文部科学省 (予定)

日時：3月27日(火) 9:00-17:30 (予定)

会場：SG 会場 (第6校舎 613 教室) 及び

SH 会場 (第6校舎 614 教室)

当支部では化学振興事業の一環として、中学校・高等学校の化学クラブや理科クラブの化学に関係ある研究成果の発表の場として、化学クラブ研究発表会を開催しており、今回、第29回を開催します。

プログラム

開始・終了時間及びプログラムは関東支部 HP (<http://kanto.chemistry.or.jp/>) でご確認下さい。

参加費：無料

申込方法：当日会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 関東支部 化学クラブ係

電話(03)3292-6163

E-mail: kanto@chemistry.or.jp

第 92 春季年会プログラム [会場別]
アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)は P. 287 ~
アカデミックプログラム(AP)は 春季年会ウェブサイトにてご覧ください

S1 会場
第4校舎(B棟)J11

学会賞

3月25日午前

座長 小林 速男 (11:00~12:00)

1S1-01 学会賞受賞講演(H22) ナノグラフェンのエッジ状態とその電子的及び磁氣的機能の開拓 (東工大院理工) 榎 敏明 (11:00~12:00)

3月26日午前

座長 巽 和行 (10:00~11:00)

2S1-01 学会賞受賞講演 ゆらぎの構造化学の開拓と展開 (千葉大院融合) 西川恵子 (10:00~11:00)

座長 田中 健一郎 (11:10~12:10)

2S1-02 学会賞受賞講演(H22) 水を分解するエネルギー変換型光触媒の開発 (東大院工) 堂免一成 (11:10~12:10)

生物無機化学の新たな挑戦
-生体関連化学の新展開に向けて

3月26日午後

座長 伊東 忍 (13:30~14:50)

2S1-03 特別講演 人工光合成による化学燃料製造 (阪大院工) 福住俊一 (13:30~14:10)

2S1-04 特別講演 非ヘム型酸化酵素の機能モデル錯体の化学 (金沢大院工) 鈴木正樹 (14:10~14:50)

座長 石森 浩一郎 (14:50~16:10)

2S1-05 特別講演 呼吸酵素の機能の変換を分子レベルで見る (理研播磨) 城 宜嗣 (14:50~15:30)

2S1-06 特別講演 術中 in vivo 微小がんイメージングを可能とする有機小分子蛍光プローブの開発 (東大院医) 浦野泰照 (15:30~16:10)

座長 青野 重利 (16:10~17:30)

2S1-07 特別講演 脱ワトソン・クリック二重らせん-核酸の構造と機能に及ぼす分子環境効果 (甲南大 FIBER・甲南大 FIRST) 杉本直己 (16:10~16:50)

2S1-08 特別講演 蛋白質ラベリングを基盤とする生細胞化学 (京大院工) 浜地 格 (16:50~17:30)

学会賞

3月27日午前

座長 香月 昴 (11:00~12:00)

3S1-01 学会賞受賞講演(H22) キラル有機化合物の不斉の起源とホモキラリティーの研究 (東理大理) 峇合憲三 (11:00~12:00)

3月27日午後

座長 下村 政嗣 (13:00~14:00)

3S1-02 学会賞受賞講演(H22) 化学ツールを活用したゲノム工学の創成 (東大先端研) 小宮山 真 (13:00~14:00)

座長 鈴木 啓介 (14:10~16:20)

3S1-03 学会賞受賞講演(H22) 生体関連核酸誘導体の効率的合成法に関する研究 (東工大院生命理工) 関根光雄 (14:10~15:10)

3S1-04 学会賞受賞講演(H22) ペプチドチオエステルを合成ブロックとするタンパク質合成法の開発 (阪大蛋白研) 相本三郎 (15:20~16:20)

S2 会場
第4校舎(B棟)J21

学会賞

3月26日午前

座長 城田 靖彦 (10:00~11:00)

2S2-01 学会賞受賞講演 分子認識による機能性超分子ポリマーの創成 (阪大院理) 原田 明 (10:00~11:00)

座長 檜山 爲次郎 (11:10~12:10)

2S2-02 学会賞受賞講演 低配位有機ケイ素及び関連高周期 14 族元素化合物の創製研究 (筑波大院数理工) 関口 章 (11:10~12:10)

プラズマ化学の新展開

3月26日午後

座長 村越 敬 (13:30~14:50)

2S2-03 特別講演 プラズマ化学の新展開 (北大電子研) 三澤弘明 (13:30~13:40)

2S2-04 特別講演 無機ナノ構造による表面プラズモン共鳴波長制御 (京大化研) 寺西利治 (13:40~14:15)

2S2-05 特別講演 金属-半導体ナノ複合体の作製とプラズモン光触媒への応用 (名大院工) 鳥本 司 (14:15~14:50)

座長 三澤 弘明 (14:50~16:10)

2S2-06 特別講演 局所光電場による分子の異方電場分極・光励起プロセス (北大院理) 米田啓一郎・長澤文嘉・高瀬 舞・保田 諭・村越 敬 (14:50~15:25)

2S2-07 特別講演 プラズマ太陽電池の新展開 (九大先端研) 岡本晃一 (15:35~16:10)

座長 鳥本 司 (16:10~17:30)

2S2-08 特別講演 金属ナノ構造における光反応場のナノ光学イメージング (分子研) 岡本裕巳 (16:10~16:45)

2S2-09 特別講演 プラズマ太陽エネルギー変換システムの構築 (北大電子研) 三澤弘明 (16:45~17:20)

2S2-10 特別講演 おわりに (北大院理) 村越 敬 (17:20~17:30)

学会賞

3月27日午前

座長 寺嶋 正秀 (11:00~12:00)

3S2-01 学会賞受賞講演 極限的超高速広帯域高感度分光による化学反応機構: 極短寿命種・遷移状態 (電通大超高速レーザー) 小林孝嘉 (11:00~12:00)

3月27日午後

座長 辰巳 敬 (13:00~14:00)

3S2-02 学会賞受賞講演 光化学を基礎とする環境・エネルギー化学技術の研究 (東大院工) 橋本和仁 (13:00~14:00)

座長 巽 和行 (14:10~15:10)

3S2-03 学会賞受賞講演 遷移金属ポリヒドライドクラスターの反応化学 (東工大院理工) 鈴木寛治 (14:10~15:10)

S3 会場

第4校舎独立館DB201

天然物ケミカルバイオロジー

3月25日午前

(9:00~9:05)

1S3-01 特別企画講演 趣旨説明 (東北大院理) 上田 実 (09:00~09:05)

座長 長澤 和夫 (9:05~9:30)

1S3-02 特別企画講演 植物鉄輸送体のケミカルバイオロジー (北大院理) 難波康祐 (09:05~09:30)

座長 山田 英俊 (9:30~9:55)

1S3-03 特別企画講演 ケミカルスペースを大規模探索するインシリコスクリーニング (慶大理工) 榎原康文 (09:30~09:55)

座長 橘 和夫 (9:55~10:20)

1S3-04 特別企画講演 抗癌活性リガンドのケミカルバイオロジー (筑波大院数理物質) 木越英夫 (09:55~10:20)

座長 高橋 孝志 (10:20~10:45)

1S3-05 特別企画講演 天然物のハイスループットランダムスクリーニングへの応用 (産総研) 新家一男 (10:20~10:45)

座長 上村 大輔 (10:45~11:10)

1S3-06 特別企画講演 配糖体型天然物リガンドのケミカルバイオロジー (東北大院理) 上田 実 (10:45~11:10)

座長 梶原 康宏 (11:10~11:35)

1S3-07 特別企画講演 複合糖質リガンドのケミカルバイオロジー (阪大院理) 深瀬浩一 (11:10~11:35)

座長 村田 道雄 (11:35~12:00)

1S3-08 特別企画講演 細胞死制御リガンドのケミカルバイオロジー (理研) 袖岡幹子 (11:35~12:00)

中西シンポジウム 2012

3月25日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

化学者のための放射光ことはじめ —粉末材料構造解析 基礎理論と測定の実際

3月28日午前

座長 高谷 光 (9:30~10:50)

4S3-01 特別企画講演 放射光利用による粉末構造解析の基礎 (JASRI) 坂田 誠 (09:30~10:00)

4S3-02 特別企画講演 物質科学のための SPring-8 粉末回折法の先端活用 (理研/SPring-8) 加藤健一 (10:00~10:50)

座長 松尾 豊 (11:00~12:30)

4S3-03 特別企画講演 有機化合物の未知粉末結晶構造解析 (リガク) 佐々木明登 (11:00~11:30)

4S3-04 特別企画講演 有機超分子材料の粉末 X 線構造解析 (京大化研・阪大院基礎工・物材機構) ○高谷 光・高橋永次・直田 健・磯崎勝弘・尾形和樹・小川哲也・中村正治 (11:30~12:00)

4S3-05 特別企画講演 SPring-8 での極微小結晶による単結晶構造解析 (JASRI/SPring-8) 木村 滋 (12:00~12:30)

化学者のための放射光ことはじめ —粉末材料構造解析 応用とその成果

3月28日午後

座長 植村 卓史 (13:30~14:50)

4S3-06 特別企画講演 分子性化合物を対象とした放射光粉末構造解析-手法開発・高度化・適用例 (名大院工) 西堀英治 (13:30~14:20)

4S3-07 特別企画講演 SPring-8 の粉末 X 線実験が解き明かす先端材料の機能 (JASRI) 金 廷恩 (14:20~14:50)

座長 竹内 正之 (15:00~16:35)

4S3-08 特別企画講演 ニッケル水素電池用ポリタイプ積層合金の X 線結晶構造解析 (GS コアサ) 尾崎哲也 (15:00~15:30)

4S3-09 特別企画講演 放射光 X 線回折を利用した発光性有機塩結晶

の構造解析 (阪大院工・JST さきがけ) 藤内謙光 (15:30~16:00)

4S3-10 特別企画講演 柔軟性錯体ナノ空間の構造解析と高分子化学への応用 (京大院工) 植村卓史 (16:00~16:30)

4S3-11 特別企画講演 閉会挨拶 (JASRI) 山川 晃 (16:30~16:35)

S4 会場

第4校舎独立館DB202

博士セミナー：企業で活躍する博士たち

3月25日午後

(13:00~17:20)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3.11 被災地の復興への歩み —安全な教育・研究環境を求めて

3月26日午前

(9:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

特別講演

3月26日午後

座長 森山 広思 (14:00~14:50)

2S4-01# 特別講演 Fascinating Insights in Chemistry, Biology and Medicine by NMR (ETH Zurich, Switzerland) Richard R. Ernst (14:00~14:50)

S5 会場

第4校舎独立館DB203

市民公開講座～科学で未来をきり拓く～

3月25日午後

座長 狩野 直和 (13:20~14:10)

1S5-01 市民公開講座 宇宙は無数にあるのか? -物理学の描く新たな宇宙像- (自然科学研究機構) 佐藤勝彦 (13:20~14:10)

座長 横山 広美 (14:10~15:00)

1S5-02 市民公開講座 東日本大震災と巨大津波 (東京大学 大学院情報学環総合防災情報研究センター) 古村孝志 (14:10~15:00)

座長 井上 将行 (15:20~16:10)

1S5-03 市民公開講座 眠る植物と食虫植物の科学-不思議な生物現象の化学- (東北大院理) 上田 実 (15:20~16:10)

座長 近藤 寛 (16:10~17:00)

1S5-04 市民公開講座 太陽光と水からつくる無限のクリーンエネルギー-人工光合成への挑戦- (東大院工) 堂免一成 (16:10~17:00)

福島第一原子力発電所事故から1年：環境放射線(能) モニタリングデータの検証

3月28日午前

(9:30~11:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S6 会場

第4校舎独立館D201

液相高密度エネルギーナノ反応場の化学

3月25日午前

座長 朝日 剛 (9:30~10:35)

1S6-01 特別企画講演 液相レーザーアブレーション法の発展 (東大院総合文化) 真船文隆 (09:30~09:45)

1S6-02 特別企画講演 液中レーザーアブレーションを用いたクエン

酸安定化金、銀ナノ粒子の作製と形状操作 (九大先導研・徳島大院工・産総研・香川大院工) ○辻 剛志・辻 正治・橋本修一・越崎直人・石川善恵 (09:45~10:10)

1S6-03 特別企画講演 液中レーザーアブレーションによる無機ナノ粒子の作製 (東工大院総合理工) 和田裕之 (10:10~10:35)

座長 辻 剛志 (10:35~12:30)

1S6-04 特別企画講演 金属ナノコロイドのレーザー合成と応用 (豊田中研) ○西 哲平・鈴木教友・杉山英彦・矢野一久・伊藤明生・日置辰視・東博 純 (10:35~11:00)

1S6-05 特別企画講演 液相レーザー溶融法によるサブミクロン球状粒子作製-ナノ粒子作製法との比較- (産総研ナノシステム・香川大院工) 越崎直人・Alexander Pyatenko・石川善恵 (11:00~11:25)

1S6-06 特別企画講演 添加物フリーの有機ナノ粒子水分散液の作製とその応用 (愛媛大院理工) 朝日 剛 (11:25~11:50)

1S6-07 特別企画講演 溶液光化学の新局面: 超高速時間分解 X 線散乱と相分離溶媒中の化学反応 (東北大院理) 福村裕史 (11:50~12:20)

エネルギー・環境問題と材料化学構築学

3月25日午後

座長 中平 敦 (13:30~14:00)

1S6-08 特別講演 化学的ナノ構造構築による熱電変換材料の創製 (名大院工・JST-CREST) 河本邦仁 (13:30~14:00)

座長 松田 厚範 (14:00~15:00)

1S6-09 特別講演 ハイブリッド電解液を用いたポストリチウムイオン電池の開発 (産総研エネルギー技術) 周 豪慎 (14:00~14:30)

1S6-10 特別講演 分析電顕を活用した燃料電池 SOFC 用材料研究 (物材機構・クイーンズランド大) ○森 利之・DRENNAN John (14:30~15:00)

座長 大槻 主税 (15:00~16:00)

1S6-11 特別講演 無機固体電解質を用いた全固体リチウム二次電池 (阪府大院工) 辰巳砂昌弘 (15:00~15:30)

1S6-12 特別講演 構造制御したチタニア関連ナノ材料の光電変換と太陽電池への応用 (筑波大数理物質) 鈴木義和 (15:30~16:00)

座長 田中 勝久 (16:00~17:00)

1S6-13 特別講演 銅酸化物(Cu₂O, CuO)半導体の特性と太陽電池への応用 (豊橋技科大) 伊崎昌伸 (16:00~16:30)

1S6-14 特別講演 太陽電池・水分解水素製造光触媒応用を目指した窒化物のバンド構造制御 (京工織大院工芸) 園田早紀 (16:30~17:00)

次元性がもたらす新しい分子機能

3月28日午前

座長 宇佐美 久尚 (9:30~11:00)

4S6-01 特別企画講演 はじめに~次元制御によりもたらされる新しい機能~ (山口大院医) 川俣 純 (09:30~09:45)

4S6-02 特別企画講演 無機ナノシートが形成する異方的柔構造と光機能 (九工大院工) 中戸晃之 (09:45~10:10)

4S6-03 特別企画講演 分子間相対配置の操作による光化学反応の制御 (首都大院都市環境・JST さきがけ) 高木慎介 (10:10~10:35)

4S6-04 特別企画講演 金属錯体が形成する低次元ナノ空間内での高分子化学 (京大院工) 植村卓史 (10:35~11:00)

座長 笹井 亮 (11:15~12:30)

4S6-05 特別企画講演 超分子エンジニアリングによるエキゾチック色素集合体の創製 (千葉大院工) 矢見史樹 (11:15~11:40)

4S6-06 特別企画講演 分子メカニカルデバイスの創製 (東北大多元研) 芥川智行 (11:40~12:05)

4S6-07 特別企画講演 白い粒子と黒い粒子で赤富士を描く (名大院工) 竹岡敬和 (12:05~12:30)

分子デバイスと次元制御空間

3月28日午後

座長 家 裕隆 (13:30~15:00)

4S6-08 特別企画講演 はじめに~分子デバイスと次元制御空間~ (阪大産研) 谷口正輝 (13:30~13:45)

4S6-09 特別企画講演 1次元単分子ワイヤの創成およびその電子伝導特性の解明 (東工大理工) 木口 学 (13:45~14:10)

4S6-10 特別企画講演 電極表面における金属錯体の2次元組織化 (熊本大院先導機構) 吉本惣一郎 (14:10~14:35)

4S6-11 特別企画講演 新反応が拓く有機エレクトロニクス材料 (東大院理・JST さきがけ) 辻 勇人 (14:35~15:00)

座長 山田 亮 (15:15~16:30)

4S6-12 特別企画講演 ナノ粒子とパルスレーザーの相互作用を利用したナノ加工 (徳島大院工) 橋本修一 (15:15~15:40)

4S6-13 特別企画講演 第一原理シミュレーションによる実在系分子

伝導理論 (産総研ナノシステム) 中村恒夫 (15:40~16:05)

4S6-14 特別企画講演 ナノスケールの分子配線素子の合成と分子エレクトロニクスへの応用 (京大院工) 寺尾 潤 (16:05~16:30)

S7 会場

第4校舎独立館D202

遷移金属元素と典型元素のマリアージュ

3月25日午前

座長 斎藤 雅一 (9:30~10:50)

1S7-01 特別企画講演 趣旨説明 (東大院理) 狩野直和 (09:30~09:35)

1S7-02 特別企画講演 高配位典型元素と遷移金属元素の結合形成 (東大院理) 狩野直和 (09:35~10:00)

1S7-03 特別企画講演 安定低配位典型元素化合物を配位子にもつ遷移金属錯体の探索 (東北大院理) 岩本武明 (10:00~10:25)

1S7-04 特別企画講演 低配位リン配位子(BPEP)を有する3d金属錯体の合成、構造および反応 (京大化研・JST さきがけ) ○中島裕美子・小澤文幸 (10:25~10:50)

座長 岩本 武明 (10:50~12:30)

1S7-05 特別企画講演 典型元素と遷移金属元素を骨格に含む新しい芳香族化合物の合成 (埼玉大院理工) 斎藤雅一 (10:50~11:15)

1S7-06 特別企画講演 [NiFe]ヒドロゲナーゼ活性部位のモデル構築と機能の模倣 (名大院理) 大木靖弘 (11:15~11:40)

1S7-07 特別企画講演 ホウ素-ホウ素結合の銅触媒による活性化を利用した有機ホウ素化合物合成 (北大院理) 伊藤 肇 (11:40~12:05)

1S7-08 特別企画講演 元素化学で切り拓く合成化学・材料化学・生命科学 (東大院薬・理研) 内山真伸 (12:05~12:30)

無機-有機複合系光機能の最前線

3月25日午後

座長 坪村 太郎 (13:30~14:50)

1S7-09 特別企画講演 趣旨説明 (富山大院理工) 野崎浩一 (13:30~13:35)

1S7-10 特別企画講演 環境感応型発光性金属錯体の新展開 (北大院理) 加藤昌子 (13:35~14:00)

1S7-11 特別企画講演 混合化による銅(I)および銀(I)配位高分子の発光性制御 (富山大院理工) 柘植清志 (14:00~14:25)

1S7-12 特別企画講演 希土類錯体ネットワークの構築と光機能 (北大院工) 長谷川靖哉 (14:25~14:50)

座長 速水 真也 (14:50~15:40)

1S7-13 特別企画講演 無機-有機ハイブリッド応力発光材料とその応用展開 (産総研九州セ・JST-CREST) 徐 超男○寺崎 正 (14:50~15:15)

1S7-14 特別企画講演 外場応答磁性物質の合成 (九大先導研) 佐藤 治 (15:15~15:40)

座長 石谷 治 (15:40~16:30)

1S7-15 特別企画講演 光機能性ルテニウム-ペプチド錯体: 光電子移動からCO₂還元 (北里大院理・JST さきがけ) 石田 斉 (15:40~16:05)

1S7-16 特別企画講演 半導体-錯体ハイブリッド触媒を用いた水を電子源とした選択的なCO₂光還元反応 (豊田中研) ○佐藤俊介・荒井健男・森川健志・上村恵子・鈴木登美子・田中洋充・梶野 勉 (16:05~16:30)

S8 会場

第4校舎独立館D203

有機合成化学を起点とするものづくり戦略

3月25日午前

(9:30~9:40)

1S8-01 特別企画講演 趣意説明 (阪大院理) 田中克典 (09:30~09:40)

座長 田中 克典 (9:40~10:30)

1S8-02 特別企画講演 「何をつくるか」「どうやってつくるか」 (九大先導研) 友岡克彦 (09:40~10:05)

1S8-03 特別企画講演 生細胞適用可能な光機能性分子の精密設計と

その応用 (東大院医) 浦野泰照 (10:05~10:30)

座長 中尾 佳亮 (10:30~11:20)

1S8-04 特別企画講演 有機合成を基盤とした高分子の精密合成 (京大化研) 山子 茂 (10:30~10:55)

1S8-05 特別企画講演 小員環の反応性を利用した低 pH 応答 DNA 切断分子の設計と合成 (京大院薬) 高須清誠 (10:55~11:20)

座長 井川 和宣 (11:20~12:05)

1S8-06 特別企画講演 天然物の合成研究:高度に官能基化された多環式骨格の構築を目指して (東大院薬) 横島 聡 (11:20~11:40)

1S8-07 特別企画講演 光・電子機能性分子の新デザイン (名大院理・JST-CREST) 山口茂弘 (11:40~12:05)

座長 平井 剛 (12:05~12:30)

1S8-08 特別企画講演 有機合成化学と糖鎖生物学 (理研基幹研・ERATO-JST) 伊藤幸成 (12:05~12:30)

元素戦略：物質科学のジャンプによる課題解決を目指して

3月25日午後

座長 野崎 京子 (13:30~15:00)

1S8-09 特別講演 元素戦略：歴史観・世界観に基づいた科学研究 (東大院理) 中村栄一 (13:30~14:15)

1S8-10 特別講演 元素戦略—持続可能社会への新しい視点 (奈良先端大) 村井眞二 (14:15~15:00)

座長 北川 宏 (15:00~16:30)

1S8-11 特別講演 "現代の錬金術"を目指す材料ユビキタス元素戦略 (東工大応セラ研) 細野秀雄 (15:00~15:45)

1S8-12 特別講演 資源リスクの中の物質科学 (物材機構元素戦略センター) 原田幸明 (15:45~16:30)

座長 玉尾 皓平 (16:30~17:15)

1S8-13 特別講演 俯瞰的視野とエビデンスに基づく我が国の科学技術の現状分析と元素戦略 (科学技術振興機構) 中山智弘 (16:30~17:15)

SA 会場

第4校舎独立館D205

フロンティア生命化学研究が拓く次世代低分子創薬

3月25日午前

(9:30~9:35)

1SA-01 特別企画講演 趣旨説明 (東大医科研) 津本浩平 (09:30~09:35)

座長 辻 尚志 (9:35~10:15)

1SA-02 特別企画講演 タンパク質ネットワーク解析から低分子化合物の標的決定へ (産総研) 夏目 徹 (09:35~10:15)

座長 藤井 郁雄 (10:15~10:55)

1SA-03 特別企画講演 ヘリックス模倣化合物を用いたタンパク質間相互作用を標的にした創薬 (PRISM BioLab) 小路弘行 (10:15~10:55)

座長 三原 久和 (11:05~11:45)

1SA-04 特別企画講演 抗体医薬の作用を低分子経口剤で実現する (分子設計アドバイザー/インタープロテイン) ○松崎尹雄・森島甫・肥塚靖彦・高島 徹・小松弘嗣・細田雅人 (11:05~11:45)

座長 二木 史朗 (11:45~12:25)

1SA-05 特別企画講演 FBDDを基盤としたリード化合物の創製 (アステラス製薬) 新美達也 (11:45~12:25)

(12:25~12:30)

1SA-06 特別企画講演 総括 (味の素製薬) 辻 尚志 (12:25~12:30)

分子集合を利用した「柔らかい」電子デバイス

3月25日午後

(13:30~13:35)

1SA-07 特別企画講演 趣旨説明 (物材機構) 樋口昌芳 (13:30~13:35)

座長 樋口 昌芳 (13:35~15:15)

1SA-08 特別企画講演 有機エレクトロニクス (東大工・JST/ERATO) ○関谷 毅・染谷隆夫 (13:35~14:00)

1SA-09 特別企画講演 貼って巻いてバイオ発電：柔軟な酵素電極シールの開発 (東北大院工・産総研ナノチューブ応用研究セ) ○西澤松彦・三宅丈雄・長峯邦明・吉野修平・山田健郎・畠 賢治 (14:00~14:25)

1SA-10 特別企画講演 新規フラーレン誘導体を用いた有機薄膜太陽電池 (東大院理) 松尾 豊 (14:25~14:50)

1SA-11 特別企画講演 人体計測を可能とするカーボンナノチューブ歪みセンサー (産総研ナノチューブ応用研セ) ○山田健郎・畠 賢治 (14:50~15:15)

座長 松尾 豊 (15:15~16:30)

1SA-12 特別企画講演 配位プログラミングしたボトムアップ法による分子デバイス構築 (中央大理工) 芳賀正明 (15:15~15:40)

1SA-13 特別企画講演 導電性フィルムの最新動向 (帝人化成) 伊藤晴彦 (15:40~16:05)

1SA-14 特別企画講演 エレクトロクロミック型表示デバイス (物材機構・JST-CREST) 樋口昌芳 (16:05~16:30)

創薬リードのケミカルバイオロジー

3月27日午前

(9:00~9:05)

3SA-01 特別講演 挨拶 (慶大理工) 戸嶋一敦 (09:00~09:05)

座長 戸嶋 一敦 (9:05~9:45)

3SA-02 特別講演 ハリコンドリンBをリードとした新規抗がん剤ハラヴェンの開発研究 (エーザイ・エーザイリンク) 田上克也 (09:05~09:45)

座長 井本 正哉 (9:45~10:25)

3SA-03 特別講演 難病克服への挑戦：ペプチド科学を基盤とする創薬科学 (長浜バイオ大) 木曾良明 (09:45~10:25)

座長 有本 博一 (10:25~11:05)

3SA-04 特別講演 植物由来のGPCR拮抗薬：発見からプロセス開発まで (塩野義製薬 CMC 研) 鴻池敏郎 (10:25~11:05)

座長 袖岡 幹子 (11:05~11:45)

3SA-05 特別講演 抗菌剤の研究開発とケミカルバイオロジー (Meiji Seika ファルマ) 味戸慶一 (11:05~11:45)

座長 上村 大輔 (11:45~12:25)

3SA-06 特別講演 天然物をリードとした創薬研究 (味の素製薬) 辻尚志 (11:45~12:25)

(12:25~12:30)

3SA-07 特別講演 挨拶 (神奈川大理) 上村大輔 (12:25~12:30)

化学の夢ロードマップ

3月27日午後

(13:30~16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ソーラ燃料生成を実現する人工光合成

3月28日午前

(9:30~9:40)

4SA-01 特別企画講演 はじめに (阪市大複合先端研・大分大工・JST さきがけ) ○南後 守・天尾 豊 (09:30~09:40)

座長 藤井 律子 (9:40~10:50)

4SA-02 特別企画講演 ソーラ燃料生成のための人工光合成系の現状 (阪市大複合先端研・大分大工・JST さきがけ) ○南後 守・天尾 豊 (09:40~10:10)

4SA-03 特別企画講演 人工金属タンパク質をモチーフとした新規ヒドロゲナーゼモデルの創製 (阪大院工) 林 高史 (10:10~10:50)

座長 南後 守 (10:50~12:10)

4SA-04 特別企画講演 金属錯体を用いた水の酸化と人工光合成への挑戦 (分子研・JST さきがけ) 正岡重行 (10:50~11:30)

4SA-05 特別企画講演 二酸化炭素を高効率で還元する光触媒システムの創製 (東工大院理工) 石谷 治 (11:30~12:10)

(12:10~12:20)

4SA-06 特別企画講演 総括 (阪市大複合先端研) 南後 守 (12:10~12:20)

信 (15:00~15:20)

有機スピントロニクスの新展開

3月28日午後

座長 山下 正廣 (13:30~15:05)

- 4SA-07 特別企画講演** はじめに (東大物性研) 田島裕之 (13:30~13:40)
- 4SA-08 特別企画講演** 分子を介したスピン依存伝導と巨大磁気抵抗効果の発現 (阪大院基礎工) 白石誠司 (13:40~14:15)
- 4SA-09 特別企画講演** 有機スピン系の光励起状態とスピン化学に関連する最近の話題 (阪市大院理) 手木芳男 (14:15~14:40)
- 4SA-10 特別企画講演** 光電変換有機半導体におけるスピン化学 (新潟大院自然・JST-CREST) 生駒忠昭 (14:40~15:05)

座長 白石 誠司 (15:05~16:45)

- 4SA-11 特別企画講演** 有機ラジカルの光電流変換や非線形光学効果 (名大物質国際セ・JST-CREST) 阿波賀邦夫 (15:05~15:30)
- 4SA-12 特別企画講演** 有機薄膜における光電流磁場効果 (東大物性研) 田島裕之 (15:30~15:55)
- 4SA-13 特別企画講演** 電子スピンをプローブとする有機半導体薄膜の電荷輸送 (産総研) 〇長谷川達生・松井弘之 (15:55~16:20)
- 4SA-14 特別企画講演** 単分子量子磁石を用いた量子分子スピントロニクスの最前線 (東北大院理) 山下正廣 (16:20~16:45)

SB 会場

第4校舎独立館D307

ソフト界面を活かした先端化学

3月28日午前

座長 佐藤 縁 (9:30~10:25)

- 4SB-01 特別企画講演** ソフト界面を活かした先端化学 (九大院工) 三浦佳子 (09:30~09:35)
- 4SB-02 特別企画講演** ソフト界面構築による強磁性ナノ粒子の機能化 (慶大理工) 栄長泰明 (09:35~10:00)
- 4SB-03 特別企画講演** ソフト界面設計による表面プラズモン励起増強蛍光分光(SPFS)免疫測定の高感度化 (コニカミノルタテクノロジセンター) 彼谷高敏 (10:00~10:25)

座長 青木 寛 (10:25~11:15)

- 4SB-04 特別企画講演** ソフト界面への微粒子吸着現象を利用した気液分散系の安定化 (阪工大工) 〇藤井秀司・中村吉伸 (10:25~10:50)
- 4SB-05 特別企画講演** ソフト界面が形成誘起する超分子組織体の構造化学-ポリマーナノフィルムからポリマーナノスフィアまで- (埼玉大院理工) 藤森厚裕 (10:50~11:15)

座長 吉川 佳広 (11:15~12:30)

- 4SB-06 特別企画講演** 液体に接した高分子ソフトナノ界面における高分子鎖シミュレーション (産総研ナノシステム) 森田裕史 (11:15~11:40)
- 4SB-07 特別企画講演** 高分子ソフト界面の構造・物性制御に基づく新規バイオ材料の構築 (九大院工・山形大院理工) 〇松野寿生・平田豊章・下村信一郎・田中 賢・田中敬二 (11:40~12:05)
- 4SB-08 特別企画講演** 電子線リソグラフィ加工した基質界面の微細構造による細胞挙動操作 (早大先進理工) 武田直也 (12:05~12:30)

エキゾチック自己組織化材料： 特異な形態の構築と機能解析

3月28日午後

(13:30~13:35)

- 4SB-09 特別企画講演** 趣旨説明 (九大院工) 松浦和則 (13:30~13:35)

座長 松浦 和則 (13:35~14:20)

- 4SB-10 特別企画講演** エネルギー散逸系で生まれるマイクロチューブル群の構造秩序 (北大院理・JST さきがけ) 角五 彰 (13:35~13:55)
- 4SB-11 特別企画講演** DNA ナノ構造のためのモチーフ設計 (東北大院工) 村田 智 (13:55~14:20)

座長 岸村 顕広 (14:20~15:20)

- 4SB-12 特別企画講演** 液晶性とナノ相分離を利用した有機半導体の機能化 (香川大工) 舟橋正浩 (14:20~14:40)
- 4SB-13 特別企画講演** 有機薄膜太陽電池のナノスケール電荷キャリア移動度 (阪大院工・JST さきがけ) 佐伯昭紀 (14:40~15:00)
- 4SB-14 特別企画講演** シグマ共役高分子ポリシラン;界面、キラル、エキゾチック自己組織化能 (奈良先端大物質・JST さきがけ) 内藤昌

座長 中西 尚志 (15:20~16:30)

- 4SB-15 特別企画講演** ナノ触診技術によるソフトマテリアル物性解析 (東北大 WPI-AIMR) 中嶋 健 (15:20~15:45)
- 4SB-16 特別企画講演** 多様なバイオミネラルにならう自己組織化材料の作製 (慶大理工) 緒明佑哉 (15:45~16:10)
- 4SB-17 特別企画講演** エキゾチック自己組織化材料の商品化のためには何が必要か? (富士フィルム先端研) 西見大成 (16:10~16:30)

SC 会場

第4校舎独立館D310

持続可能な社会を支える化学と化学技術

3月25日午前

座長 原 重樹 (9:30~12:30)

- 1SC-01 特別企画講演** GSCの現状と課題 (産総研) 原 重樹 (09:30~09:45)
- 1SC-02 特別企画講演** 固体酸触媒を用いた低環境負荷型アダマンタン製造プロセスの開発 (出光興産) 斎藤昌男・小島明雄・細谷憲明・草場敏彰〇間瀬 淳 (09:45~10:15)
- 1SC-03 特別企画講演** 環境調和性に優れた有機ラジカル電池の研究開発 (日本電気) 岩佐繁之 (10:15~10:45)
- 1SC-04 特別企画講演** 太陽光と水から水素を製造する粉末光触媒の開発 (東理大理工) 工藤昭彦 (10:45~11:15)
- 1SC-05 特別企画講演** 環境にやさしい香料の新製法の開発 (宇部興産) 〇杉瀬良二・土井隆志・白井昌志・吉田佳弘・佐直英治 (11:15~11:45)
- 1SC-06 特別企画講演** ポリプロピレンサクシネートをバイオベースソフトセグメントとするポリ乳酸ブロック共重合体の開発 (京工繊大院) 〇西脇啓真・木村良晴 (11:45~12:00)
- 1SC-07 特別企画講演** 原子間力顕微鏡を用いたポリ乳酸とポリ乳酸ステレオコンプレックス薄膜の結晶成長観察 (東大院農) 〇信岡俊宏・岩田忠久 (12:00~12:15)
- 1SC-08 特別企画講演** チタン酸ナノチューブの構造制御と酸触媒特性 (東工大応セラ研) 〇齊藤達也・北野政明・中島清隆・原 亨和 (12:15~12:30)

第6回化学遺産市民公開講座

3月25日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SD 会場

第4校舎独立館D311

未来を拓く社会からのメッセージ ~あなたのキャリアデザインのために~

3月25日午後

(14:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SE 会場

第6校舎J611

日本化学会論文誌シンポジウム2012 「新しい研究評価時代の情報発信とは」

3月26日午前

(9:30~12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第2次先端ウォッチング イブニングセッション:
シングルセル解析による生命科学の新潮流

3月26日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SF 会場

第6校舎J612

第2次先端ウォッチング イブニングセッション:
高分子システムのための分子科学: 実験と理論の挑戦

3月26日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SG 会場

第6校舎613 教室

会長講演、表彰式

3月26日午後

(13:40~15:20)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第29回化学クラブ研究発表会

3月27日午前

(9:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月27日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SH 会場

第6校舎614 教室

第19回化学教育フォーラム:
新教育課程への期待とその課題

3月25日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第29回化学クラブ研究発表会

3月27日午前

(9:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月27日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SJ 会場

第6校舎623 教室

JST さきがけ研究領域合同国際シンポジウム
「持続する社会を先導する光科学: 環境・エネルギー・機能材料」

3月26日午前

(9:45~12:45)

2SJ-01 特別メッセージ1: さきがけ研究に期待するもの (JST) 北澤

宏一 (09:45~10:00)

2SJ-02 基調講演 若手研究者に必要なセンス: 光触媒研究を例として

(東理大) 藤嶋 昭 (10:00~10:40)

JST さきがけ研究領域・研究紹介
「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」

2SJ-03[#] 研究領域紹介 (東農工大) 松永 是 (10:40~11:00)

2SJ-04[#] 特別講演 Genomics-Enabled Exploration of the Metabolic Secrets of Marine Diatoms (Ecole Normale Supérieure, FRANCE) Chris Bowler (11:00~11:40)

2SJ-05[#] Perspectives of research on increasing photosynthesis in cyanobacteria by overcoming the limitations of CO₂-fixing enzyme, RuBisCO (奈良先端大) 蘆田弘樹 (11:45~12:05)

2SJ-06[#] Photosystem reaction by using near infrared light (東理大) 鞠 達也 (12:05~12:25)

2SJ-07[#] Biofuel production in CO₂-absorbing microalgae *Euglena gracilis* (阪府大) 中澤昌美 (12:25~12:45)

3月26日午後

(14:00~16:35)

2SJ-08 JST 事業紹介 (14:00~14:15)

JST さきがけ研究領域・研究紹介
「光の利用と物質材料・生命機能」

2SJ-09[#] 研究領域紹介 (奈良先端大) 増原 宏 (14:30~14:50)

2SJ-10[#] 特別講演 Multiscale, Superresolved, Ultrasensitive Optical Molecular Imaging (CNSI, UCLA) Shimon Weiss (14:50~15:35)

2SJ-11[#] In-situ Optical Observation for Elucidating Antifreeze Mechanism of Water by Proteins (北大) 佐崎 元 (15:35~15:55)

2SJ-12[#] Cell and micro-organism manipulations with photo-functional and photo-controllable proteins (名大) 須藤雄気 (15:55~16:15)

2SJ-13[#] Time-dependent molecular orbital imaging with a soft-Xray laser pulse (早大) 新倉弘倫 (16:15~16:35)

3月27日午前

JST さきがけ研究領域・研究紹介
「太陽光と光電変換機能」

(10:00~12:05)

3SJ-01[#] 研究領域紹介 (九工大) 早瀬修二 (10:00~10:20)

3SJ-02[#] 特別講演 Novel Materials and Techniques for Producing Flexible Dye Sensitized Solar Cells on Plastic Substrates (Monash Univ.) Yi-Bing Cheng (10:20~11:05)

3SJ-03[#] Near-IR Dye Sensitization of Polymer Solar Cells (京大) 大北英生 (11:05~11:25)

3SJ-04[#] Dynamics of Multiple Exciton Generation in PbS Quantum Dots (電通大) 沈 青 (11:25~11:45)

3SJ-05[#] Creation of new type solar cells using chalcopyrite phosphide semiconductors (京大) 野瀬嘉太郎 (11:45~12:05)

3月27日午後

(13:30~16:10)

3SJ-06[#] 特別メッセージ "Tandem ZACA-Pd-Catalyzed Cross-Coupling as Widely Applicable and Selective Routes to Chiral Organic Compounds" (パデュー大) 根岸英一 (13:30~14:00)

JST さきがけ研究領域・研究紹介
「光エネルギーと物質変換」

3SJ-07[#] 研究領域紹介 (首都大) 井上晴夫 (14:00~14:20)

3SJ-08[#] 特別講演 Bio-inspired Solar Energy Conversion (Arizona State Univ.) Devens Gust (14:20~15:05)

3SJ-09[#] Development of Large Photofunctional Porphyrin Arrays (京大) 荒谷直樹 (15:05~15:25)

3SJ-10[#] Biological methane production and anaerobic oxidation of methane (マックスプランク陸生微生物学研究所) 嶋 盛吾 (15:25~15:45)

3SJ-11[#] Development of visible-light-responsive photocatalyst systems toward solar hydrogen production (北大) 阿部 竜 (15:45~16:05)

3SJ-12 閉会挨拶 (電通大) 岩澤康裕 (16:05~16:10)

SK 会場

11棟11-31

エルゼビア Reaxys セミナー～合成化学研究の効率化を目指して～

3月25日午前

(10:00～11:40)

詳細は別掲ページをご覧ください。

グリーンケミストリーへの新戦略

3月25日午後

座長 尾中 篤 (13:30～16:30)

1SK-01 特別企画講演 趣旨説明 (東大院総合文化) 尾中 篤 (13:30～13:35)

1SK-02 特別企画講演 ゼオライト触媒による化学品のグリーン合成 (東工大資源研) 辰巳 敬 (13:35～14:30)

1SK-03 特別企画講演 触媒技術開発・資源・環境・エネルギー分野での貢献を目指して (三井化学シンガポール R&D センター) 藤田照典 (14:30～15:25)

1SK-04 特別企画講演 グリーン・ケミストリーを実現するための金属固定化触媒 (東大院理) 小林 修 (15:35～16:30)

直截的分子変換手法の開発：有機分子の新活性化法

3月26日午後

(13:30～13:40)

2SK-01 特別講演 趣旨説明 (阪大院工) 茶谷直人 (13:30～13:40)

座長 真島 和志 (13:40～14:40)

2SK-02 特別講演 窒素分子の脱離を起点とするトリアゾール類の新しい分子変換反応 (京大院工) 三浦智也 (13:40～14:10)

2SK-03 特別講演 10 族遷移金属上での四フッ化エチレンの炭素-フッ素結合の活性化とクロスカップリング反応への応用 (阪大院工) 大橋理人 (14:10～14:40)

座長 岩澤 伸治 (14:40～15:40)

2SK-04 特別講演 直感的な分子構築を志向した炭素-水素結合直接官能基化反応の開発 (岐阜大工) 芝原文利 (14:40～15:10)

2SK-05 特別講演 長鎖脂肪酸水酸化酵素の基質認識誘導によるガス状アルカンの水酸化反応 (名大院理) 荳司長三 (15:10～15:40)

座長 村上 正浩 (15:40～16:40)

2SK-06 特別講演 CO₂ユニットの求核的導入を基軸とするカルボキシル化反応の構築 (東工大院理工) 榎本啓人 (15:40～16:10)

2SK-07 特別講演 不活性フェノール誘導体の炭素-酸素結合の触媒的直截変換 (阪大院工) 齋巢 守 (16:10～16:40)

B1 会場

第4校舎(B棟)J14

次世代エネルギー技術
～分散型エネルギー社会を目指して～

3月27日午前

次世代蓄電技術/システム

(9:20～9:30)

3B1-03 オーガナイザー挨拶 (京大院工) 安部武志 (09:20～09:30)

座長 安部 武志 (9:30～10:20)

3B1-04 基調講演 リチウムイオン電池技術と未来社会 (旭化成 吉野研究室) 吉野 彰 (09:30～10:20)

座長 片山 靖 (10:20～11:10)

3B1-09 依頼講演 リチウム二次電池用負極カーボン単粒子の高速充放電特性 (横国大院工) 獨古 薫 (10:20～10:50)

3B1-12* 口頭C講演 熱処理によるラムスデライト型チタン酸リチウム負極の容量回復 (日本電信電話) ○SETIAWATI, Elly・林 政彦・林 克也・小林隆一 (10:50～11:10)

座長 獨古 薫 (11:10～11:40)

3B1-14 依頼講演 全固体電池実現に向けて一超リチウムイオン伝導体の開発— (東工大院総合理工) 菅野了次 (11:10～11:40)

3月27日午後

座長 萩原 理加 (13:20～14:10)

3B1-27 依頼講演 イオン液体電解液を用いたリチウム二次電池の電極反応 (慶大院工) ○片山 靖・石井みか・堀 祐己・美浦 隆 (13:20～13:50)

3B1-30 口頭C講演 ニッケル水素蓄電池を用いた大容量バックアップ電源システム (日本電信電話) ○高橋慶多・宮坂明宏・林 克也・小林隆一・斎藤景一・正代尊久 (13:50～14:10)

座長 菅野 了次 (14:10～15:00)

3B1-32 口頭C講演 リチウム空気電池用空気極材料の最適化による電気化学特性の改善 (NTT 環境エネルギー研) ○林 政彦・裴輪浩伸・林 克也・小林隆一 (14:10～14:30)

3B1-34 依頼講演 低融点溶解塩を用いた新しい蓄電池 (京大院エネルギー・住友電工) ○萩原理加・野平俊之・福永篤史・酒井将一郎・新田耕司・稲澤信二 (14:30～15:00)

B2 会場

第4校舎(B棟)J24

未来材料

3月27日午前

次世代フォトニクス材料

(9:20～9:30)

3B2-03 オーガナイザー挨拶 (慶大院工) 小池康博 (09:20～09:30)

座長 室伏 英伸 (9:30～10:20)

3B2-04 基調講演 Face-to-Face コミュニケーションのためのフォトニクスポリマー (慶大院工) 小池康博 (09:30～10:20)

座長 小池 康博 (10:20～12:00)

3B2-09 招待講演 次世代光インターコネクションとフォトニックポリマーの研究開発動向 (東北大多元研) ○杉原興浩 (10:20～11:00)

3B2-13 依頼講演 世界最速プラスチック光ファイバの開発と応用展開 (旭硝子) 室伏英伸 (11:00～11:30)

3B2-16 依頼講演 部分塩素化コポリマーを用いたGI型光ファイバの開発 (積水化学工業・慶大院理工) 中尾亮介 (11:30～12:00)

3月27日午後

座長 杉原 興浩 (13:00～14:20)

3B2-25 招待講演 光学用高分子液晶フィルム (仮題) (JX 日鉱日石エネルギー) 真崎仁詩 (13:00～13:40)

3B2-29 招待講演 LCD用光学補償フィルムの材料設計と最新動向 (カネカテクノロジー) ○藤井貞男・川端裕輔 (13:40～14:20)

座長 多加谷 明広 (14:20～15:30)

3B2-33 招待講演 ROMP触媒によるフォトレジスト材料の開発 (三井化学新材料開発センター) 須永忠弘 (14:20～15:00)

3B2-37 依頼講演 ベクトル波情報記録と偏光感受性材料 (産総研電子光・宇大工) ○福田隆史・茨田大輔 (15:00～15:30)

座長 小池 康博 (15:30～15:50)

3B2-40 口頭C講演 ひずみ分子ジナフトチオフェン誘導体の特異な光学機能発現 (神奈川大工・スガイ化学) ○南部洋子・多田幸海・西久保忠臣・本田順也・岡田康佑・立花聡志 (15:30～15:50)



In-situ リチウム電池セル光学観察システム

EL-CELL社製(ドイツ)
光学観察用
セルECC-OPTO



顕微ラマン分光装置
光学顕微鏡
又はX線分光装置で分析

お気軽にお問い合わせください

株式会社 **三ツワフロンテック**

東京支社 東京都中央区東日本橋2-8-5

電話 ☎03-5823-2323 FAX03-5823-2311

電気化学反応過程におけるセル内部の変化を
光学観察用セルを使うことにより、リアルタイムに
ラマン分光等の分析ができます！

C1 会場

第4校舎独立館DB201

先端エレクトロニクス材料

3月26日午前

プリントドエレクトロニクス

(9:50~10:00)

2C1-06 オーガナイザー挨拶 (阪大産研) 菅沼克昭 (09:50~10:00)

座長 菅沼 克昭 (10:00~12:00)

2C1-07 招待講演 有機エレクトロニクス材料とCEREB A (次世代化学材料評価技術研究組合) 富安 寛 (10:00~10:40)

2C1-11 口頭C講演 PEDOT-SiO₂複合膜の作製と高強度透明導電膜への応用 (広島大院工・クラレ) ○今榮一郎・中村悠人・駒口健治・大下浄治・森原 靖・杉岡 尚・播磨 裕 (10:40~11:00)

2C1-13 口頭C講演 スマネン誘導体のレーザーアニーリングによる導電薄膜の作製 (阪大院工) ○雨夜 徹・稲田雄飛・佐伯昭記・関修平・平尾俊一 (11:00~11:20)

2C1-15 招待講演 有機系太陽電池の製造技術 (東大先端研) 瀬川浩司 (11:20~12:00)

3月26日午後

座長 仲島 厚志 (14:30~16:30)

2C1-34 招待講演 塗布可能な高移動度有機半導体と高性能のトランジスタ (阪大産研) 竹谷純一 (14:30~15:10)

2C1-38 招待講演 塗布型有機トランジスタの低温作製技術 (山形大) 時任静士 (15:10~15:50)

2C1-42 口頭C講演 サブ10 μ m線幅電子回路印刷用スクリーン版の開発 (阪府大院工) ○岡村晴之・村松慶子・中尻英幸・白井正充 (15:50~16:10)

2C1-44 口頭C講演 シュウ酸架橋銀アルキルアミン錯体の熱分解法を用いた室温焼結性銀ナノ微粒子の簡便・安価・高収率・低炭素化合物 (山形大理) ○栗原正人 (16:10~16:30)

座長 菅沼 克昭 (16:30~17:10)

2C1-46 口頭C講演 銅ナノ粒子インクジェットインクおよびプラズマ焼成プロセスによる導電パターン形成技術の開発 (大日本印刷ナノサイエンス研究センター) ○喜 直信・松本貴生・大森吉信・北條美貴子 (16:30~16:50)

2C1-48 口頭C講演 銅微粒子の加熱焼結挙動のTEM観察 (北大院工) ○米澤 徹・成島 隆 (16:50~17:10)

3月27日午前

紙と電子ペーパー

(9:00~9:10)

3C1-01 オーガナイザー挨拶 (東海大工) 前田秀一 (09:00~09:10)

座長 小澤 伸二 (9:10~10:20)

3C1-02 招待講演 ヒューマンインタフェースからみた紙メディアのポテンシャル (東大) 尾鍋史彦 (09:10~09:50)

3C1-06 依頼講演 読みの作業効率と環境負荷の観点から見た紙と電子メディアの比較 (富士ゼロックス 研究技術開発本部) 柴田博仁 (09:50~10:20)

電子ペーパーのカラー化

座長 樋口 昌芳 (10:20~12:00)

3C1-09 依頼講演 画像における色知覚 (千葉大院融合) 溝上陽子 (10:20~10:50)

3C1-12 依頼講演 フルカラーエレクトロクロミックディスプレイ (リコー 研究開発本部 先端技術研究センター) ○平野成伸・八代 徹・内城禎久・岡田吉智・辻 和明・金 碩燦・高橋裕幸・藤村浩・近藤 均 (10:50~11:20)

3C1-15 口頭C講演 エレクトロクロミック材料修飾電極を用いた反射/発光選択型デュアルモード表示素子 (千葉大院融合) ○井畑幸恵・渡邊雄一・中村一希・小林範久 (11:20~11:40)

3C1-17 口頭C講演 サーマクロミック分子および発光性希土類錯体を用いた新規反射/発光型デュアルモード表示媒体 (千葉大院融合) ○小林由紀乃・金澤賢司・中村一希・小林範久 (11:40~12:00)

3月27日午後

電子ペーパーの用途展開 (防災への応用)

座長 前田 秀一 (13:30~15:00)

3C1-28 依頼講演 “On Site Visualization” の提案と新材料・技術への期待 (神戸大院工) 芥川真一 (13:30~14:00)

3C1-31 依頼講演 土木サインへの電子ペーパーの利用 (建設技術研究所) ○野村 真・芥川真一 (14:00~14:30)

3C1-34 依頼講演 電子ペーパーサイネージ (大日本印刷 研究開発センター エレクトロデバイス研究所) 小林弘典 (14:30~15:00)

C2 会場

第4校舎独立館DB202

先端エレクトロニクス材料: OLED

3月27日午前

ディスプレイ

(9:10~9:20)

3C2-02 開会の辞 (名大院工) 森 竜雄 (09:10~09:20)

座長 森 竜雄 (9:20~11:50)

3C2-03 招待講演 有機ELを配列した大型表示装置の開発と応用 (三菱電機) ○原 善一郎・寺崎信夫 (09:20~10:00)

3C2-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

3C2-08 招待講演 国家プロジェクト「次世代大型有機ELディスプレイ基盤技術の開発」の現状と展望 (NEDO プロジェクト) 占部哲夫 (10:10~10:50)

3C2-12 インキュベーションタイム (10:50~11:00)

材料

3C2-13 招待講演 高分子OLED材料の最新開発状況 (住友化学) 山田 武 (11:00~11:40)

3C2-17 インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月27日午後

解析

座長 高田 徳幸 (13:00~14:20)

3C2-25 依頼講演 フッ素化自己組織化単分子膜の有機ELへの応用 (名大院工) 森 竜雄 (13:00~13:30)

3C2-28 インキュベーションタイム (13:30~13:40)

3C2-29 依頼講演 有機ELにおける非晶凝集構造とデバイス特性 (京大化研) ○梶 弘典・福島達也・福地将志・小蓑 剛・安達千波矢 (13:40~14:10)

3C2-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

座長 横山 大輔 (14:20~15:40)

3C2-33 依頼講演 光学シミュレーションによる非破壊界面評価 (産総研フレキシブルエレクトロニクス研究セ) 高田徳幸 (14:20~14:50)

3C2-36 インキュベーションタイム (14:50~15:00)

3C2-37 依頼講演 時間分解光導波路分光法を用いた青燐光材料の逆エネルギー移動の直接観測 (富士フイルム・東北大) ○平山平二郎・菅原美博・藤村秀俊・宮下陽介・三ツ石方也・宮下徳治 (15:00~15:30)

3C2-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

3月28日午前

座長 梶 弘典 (9:30~11:50)

4C2-04 基調講演 有機半導体材料の新展開とELへの展開 (九大 OPERA) 安達千波矢 (09:30~10:20)

4C2-09 インキュベーションタイム (10:20~10:30)

材料

4C2-10 依頼講演 有機EL中の分子配向一単分子による描像を超えた議論へ (山形大院理工) 横山大輔 (10:30~11:00)

4C2-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

4C2-14 依頼講演 プラスチック基材への高品質ITO薄膜の作製 (三容真空工業) 小川倉一 (11:10~11:40)

4C2-17 インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月28日午後

照明

- 座長 安達 千波矢 (13:00~15:00)
- 4C2-25 依頼講演** 有機ELの照明応用〜ここまで来た照明用有機ELのかたち〜(NECライティング) 川島康貴 (13:00~13:30)
- 4C2-28 インキュベーションタイム** (13:30~13:40)
- 4C2-29 依頼講演** 全燐光型OLED照明パネルの製品開発(コニカミノルタテクノロジーセンター) ○古川慶一・辻村隆俊 (13:40~14:10)
- 4C2-32 インキュベーションタイム** (14:10~14:20)
- 4C2-33 依頼講演** 塗布型りん光材料を用いた有機EL照明(昭和電気研究開発センター) 近藤邦夫 (14:20~14:50)
- 4C2-36 インキュベーションタイム** (14:50~15:00)

C3 会場

第4校舎独立館DB203

次世代エネルギー技術 ～分散型エネルギー社会を目指して～

3月26日午前

燃料電池・水素エネルギー技術

- 座長 光島 重徳 (10:00~11:50)
- 2C3-07** オーガナイザー挨拶 (九大水素エネルギー国際研究セ) 佐々木一成 (10:00~10:10)
- 2C3-08 基調講演** 燃料電池自動車の開発と初期市場の創出(トヨタ自動車 第2技術開発本部 FC開発部) 河合大洋 (10:10~11:00)
- 2C3-13 招待講演** FCEV普及と水素インフラ構築に向けて(水素供給・利用技術研究組合) 吉田正寛 (11:00~11:40)
- 2C3-17 インキュベーションタイム** (11:40~11:50)

3月26日午後

- 座長 宮武 健治 (15:00~17:30)
- 2C3-37 招待講演** 太陽光による水分解光触媒の開発(東大院工) 堂免一成 (15:00~15:40)
- 2C3-41 依頼講演** 再生可能エネルギー対応を目指した水電解技術(横国大院工) ○光島重徳・高橋健一・市川裕紀・松澤幸一 (15:40~16:10)
- 2C3-44 依頼講演** ナノ構造制御材料を用いる高出力燃料電池と水蒸気電解への展開(九大院工) 石原達己 (16:10~16:40)
- 2C3-47 インキュベーションタイム** (16:40~16:50)
- 2C3-48 口頭C講演** 放射線グラフト重合による新規アニオン伝導電解質膜の合成 ―塩基強度の効果― (原子力機構・ダイハツ工業) ○吉村公男・シンアナンワーニ フラボン・越川 博・八巻徹也・前川康成・山本和矢・猪谷秀幸・朝澤浩一郎・山口 進・田中裕久 (16:50~17:10)
- 2C3-50[#] 口頭C講演** ETFEを基材とするグラフト型電解質膜の階層構造および膜特性の解析(原子力機構) ○Tran, Tap・澤田真一・長谷川伸・吉村公男・大場洋次郎・大沼正人・勝村庸介・前川康成 (17:10~17:30)

3月27日午前

燃料電池・水素エネルギー技術

- 座長 石原 達己 (9:20~11:00)
- 3C3-03 基調講演** エネファームの事業動向と最新開発状況(パナソニック 燃料電池プロジェクト) 清水俊克 (09:20~10:10)
- 3C3-08 招待講演** 燃料電池用高活性触媒開発(同志社大理工) ○稲葉 稔・大門英夫・齋藤守弘・田坂明政 (10:10~10:50)
- 3C3-12 インキュベーションタイム** (10:50~11:00)

座長 稲葉 稔 (11:00~12:00)

- 3C3-13 依頼講演** PEFC無加湿運転を可能にするフッ素系電解質材料開発状況(旭化成イーマテリアルズ 新事業開発総部 燃料電池材料事業推進部) 三宅直人 (11:00~11:30)
- 3C3-16 依頼講演** 燃料電池の高性能化を目指した新型高分子電解質への挑戦(山梨大クリーンエネルギー研究センター) 宮武健治 (11:30~12:00)

3月27日午後

- 座長 三宅 直人 (13:00~15:40)
- 3C3-25 招待講演** JX日鉱日石エネルギーにおける固体酸化物形燃料電池システム(SOFC)の開発状況(JX日鉱日石エネルギー 新エネルギーシステム事業本部 システムインテグレート推進事業部) 南條 敦 (13:00~13:40)
- 3C3-29 招待講演** SOFCトリプルコンバインドサイクルシステムの開発状況(三菱重工 原動機事業本部 新エネルギー事業推進部) 小林由則 (13:40~14:20)
- 3C3-33 インキュベーションタイム** (14:20~14:30)
- 3C3-34 依頼講演** 固体酸化物形燃料電池の耐久性向上とその評価方法(産総研エネルギー技術) 堀田照久 (14:30~15:00)
- 3C3-37 口頭C講演** 燃料極支持型セルを用いたkW級SOFCスタックの開発(NTT環境エネルギー研) ○林 克也・横尾雅之・吉田吉晃・宮坂明宏・小林隆一 (15:00~15:20)
- 3C3-39 口頭C講演** LaGaO₃系固体電解質を用いた鉄-空気電池の放電特性(九大院) ○猪石 篤・伊田進太郎・石原達己・浦谷勝一・岡野誉之 (15:20~15:40)

C4 会場

第4校舎独立館D101

ATP 特別パネルディスカッション

3月26日午後

- (13:00~14:30)
- 2C4-25 パネルディスカッション** 「新エネルギーに貢献する化学」パネリスト:伊原 賢(JOGMEC)・岡崎 肇(JXエネルギー)・佐々木一成(九大)・瀬川浩司(東大)・湯川英明(RITE)、コーディネーター:北澤宏一(JST) (13:00~14:30)



新製品
1,300品

最新版試薬カタログ発行

TCI Fine Chemicals 2012-2013 (No.41)

試験研究用試薬 約22,000品目を収録

―機能性材料分野の試薬も数多く取り揃えております―

無料でお届けします▶▶▶ 弊社製品取扱店またはホームページで(www.TCIchemicals.com/ja/jp/)

化学会展示会場でも配布中! 弊社小間へぜひお立ち寄りください

2012年4月 TCIのホームページがリニューアル

www.TCIchemicals.com/ja/jp/

東京化成工業株式会社

お問い合わせは 東京化成販売(株) Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520
大阪営業所 Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158

次世代エネルギー技術
～分散型エネルギー社会を目指して～

次世代太陽光発電技術

(14:40～14:50)

2C4-35 オーガナイザー挨拶 (東大先端研) 瀬川浩司 (14:40～14:50)

座長 宮坂 力 (14:50～15:30)

2C4-36 招待講演 色素増感太陽電池の高性能化に関するアプローチ (九工大生命体工) 早瀬修二 (14:50～15:30)

座長 豊田 太郎 (15:30～16:30)

2C4-40 依頼講演 全可視光利用を可能とする近赤外変換色素の開発 (信州大繊維) 木村 睦 (15:30～16:00)

2C4-43 依頼講演 高効率色素増感太陽電池実現に向けた色素開発 (産総研) 杉原秀樹 (16:00～16:30)

座長 杉原 秀樹 (16:30～17:30)

2C4-46 依頼講演 有機ケイ素色素の利用による色素増感太陽電池の高性能化の検討 (群馬大ATEC・群馬大院工) ○境上健二・京免徹・海野雅史・花屋 実 (16:30～17:00)

2C4-49 依頼講演 逆オパール TiO₂電極に吸着した CdSe 量子ドットの光増感機能と光電変換特性 (電通大院情報理工) ○豊田太郎・沈 青 (17:00～17:30)

3月27日午前

次世代太陽光発電技術

座長 加藤 隆二 (9:00～10:00)

3C4-01 依頼講演 有機蓄電・創電ポリマーとデバイス設計 (早大理工) ○小柳津研一・西出宏之 (09:00～09:30)

3C4-04 依頼講演 光蓄電型太陽電池「光キャパシタ」の開発—イオン液体を用いる高性能化— (桐蔭横浜大院工) ○宮坂 力・伊奈隼人・池上和志 (09:30～10:00)

座長 辨天 宏明 (10:00～11:10)

3C4-07 口頭C講演 カラムナー液晶の2成分系における混和性とキャリヤ移動度 (産総研ユビキタス) ○清水 洋・松田幸真・ネケルソン ファビアン・物部浩達・吉田浩之・藤井彰彦・尾崎雅則 (10:00～10:20)

3C4-09 口頭C講演 高効率有機薄膜太陽電池のためのノンペリフェラル位置換ヘキサヘキシルフタロシアニン/PCBM2成分混合系の熱的及び電子的性質 (産総研ユビキタス) ○ネケルソン ファビアン・宮本紘治・三宅康雄・物部浩達・堀 哲朗・吉田浩之・藤井彰彦・尾崎雅則・清水 洋 (10:20～10:40)

3C4-11 依頼講演 ポリマー太陽電池用キノキサリン系共役ポリマー (東レ) ○北澤大輔・渡辺伸博・山本修平・塚本 遵 (10:40～11:10)

座長 橋本 和仁 (11:10～11:50)

3C4-14 招待講演 有機薄膜太陽電池の新展開 (東大院理) 中村栄一 (11:10～11:50)

3月27日午後

座長 瀬川 浩司 (12:50～13:40)

3C4-24 基調講演 太陽光発電の戦略的アプローチ—地球規模エネルギーへ (東工大ソリューション研究機構) 黒川浩助 (12:50～13:40)

座長 森 正悟 (13:40～14:30)

3C4-29 依頼講演 有機系太陽電池によるエネルギーハーベスティング (ラピスセミコンダクタデバイス開発部) 渡辺 実 (13:40～14:10)

3C4-32 口頭C講演 タンデム型色素増感太陽電池におけるボトム電極に関する研究 (九工大) 貞升健吾・朴 併煜○尾込裕平・Pandey, Syam Sudhir・宮本明理・藤田晋介・早瀬修二 (14:10～14:30)

座長 内田 聡 (14:30～15:40)

3C4-34 口頭C講演 塗布型酸化チタンバッファ層を利用したフィルム型色素増感太陽電池の光発電性能改善 (ベクセル・テクノロジーズ・桐蔭横浜大) ○小島陽広・木暮英雄・池上和志・宮坂 力 (14:30～14:50)

3C4-36 口頭C講演 両面受光型プラスチック色素増感太陽電池モジュールの設計開発 (ベクセル・テクノロジーズ・桐蔭横浜大) ○池上和志・手島健次郎・宮坂 力 (14:50～15:10)

3C4-38 依頼講演 プラスチック色素増感太陽電池研究開発から見えてきた次世代太陽光発電技術への提言 (太陽誘電・NTT ファシリテイーズ総合研究所) ○太田謙一・平岡真実 (15:10～15:40)

3月28日午前

次世代太陽光発電技術

座長 池上 和志 (9:00～10:30)

4C4-01 依頼講演 酸化チタンとジシアノメチレン化合物がつくる界面錯体を用いた有機系太陽電池 (東大教養・JST さきがけ・東大先端研) ○藤沢潤一・谷 薫幸・永田衛男・中崎城太郎・内田 聡・久保貴哉・瀬川浩司 (09:00～09:30)

4C4-04 依頼講演 時間分解分光で探る色素増感太陽電池の動作機構 (日大工) 加藤隆二 (09:30～10:00)

4C4-07 依頼講演 色素増感太陽電池における電荷再結合の抑制 (信州大繊維) 森 正悟 (10:00～10:30)

座長 手島 健次郎 (10:30～12:00)

4C4-10 依頼講演 ナノクレイ電解液を用いた高効率色素増感太陽電池の電子輸送機構 (東大先端研) ○内田 聡・Ito Bruno Ieiri・久保貴哉・瀬川浩司 (10:30～11:00)

4C4-13 依頼講演 高耐久鎖状スルホン電解液を用いた色素増感太陽電池の高性能化 (日本カーリット) ○梁田風人・千葉一美 (11:00～11:30)

4C4-16 依頼講演 色素増感太陽電池の電解液開発 (メルク) ○川田健太郎・吉崎浩樹・後藤智久・加藤一弘・レンカー ザビネ (11:30～12:00)

3月28日午後

座長 早瀬 修二 (13:00～14:20)

4C4-25 基調講演 大規模発電を担う超高効率太陽電池 (豊田工大) 山口真史 (13:00～13:50)

4C4-30 依頼講演 広帯域色素増感太陽電池の開発 (東大先端研) 瀬川浩司 (13:50～14:20)

座長 久保 貴哉 (14:20～15:20)

4C4-33 依頼講演 有機薄膜太陽電池のためのバンドギャップサイエンス (分子研) 平本昌宏 (14:20～14:50)

4C4-36 依頼講演 高分子薄膜太陽電池の近赤外色素増感 (京大院工・JST さきがけ) ○大北英生・本田哲士・横家星一郎・辨天宏明・伊藤紳三郎 (14:50～15:20)

(15:30～17:00)

4C4-40 パネルディスカッション 「有機系太陽電池の現状と課題」パネリスト: 山口真史(豊田工大)・早瀬修二(九工大)・宮坂 力(桐蔭横浜大)・平本昌宏(分子研)・コーディネーター: 瀬川浩司(東大) (15:30～17:00)

C5 会場

第4校舎独立館D201

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月26日午前

革新的省エネ・省資源技術

(9:30～9:40)

2C5-04 オーガナイザー挨拶 (東工大資源研) 辰巳 敬 (09:30～09:40)

座長 辰巳 敬 (9:40～10:30)

2C5-05 基調講演 地球と社会のSustainability向上のための化学技術 (地球快適化インスティテュート(TKI)) 田中栄司 (09:40～10:30)

座長 田中 栄司 (10:30～11:10)

2C5-10 招待講演 粒子・粉体接合による省エネ・省資源へのアプローチ (阪大接合研) ○内藤牧男・阿部浩也・近藤 光 (10:30～11:10)

座長 世古 信三 (11:10～11:50)

2C5-14 口頭C講演 アクリルアミドを製造するニトリル水を用いたの錯体触媒 (岡山大院自然) ○押木俊之・川上由起子・村中 誠 (11:10～11:30)

2C5-16 口頭C講演 金属酸化物を用いたCO₂吸着材の開発 (日立製作所日立研) ○吉川晃平・佐藤大樹・金枝雅人・菅野周一・野村淳子 (11:30～11:50)

3月26日午後

座長 北野 彰彦 (14:50～15:30)

2C5-36 招待講演 波長選択性を有する高透明高遮熱フィルム (住友スリーエム) ○五十嵐麻や・橋本一之・辻 浩史 (14:50～15:30)

座長 五十嵐 麻ヤ (15:30~16:10)
2C5-40 招待講演 航空機・自動車軽量化に向けた炭素繊維複合材料の研究開発 (東レ複合材料研究所) 北野彰彦 (15:30~16:10)

座長 井上 健二 (16:10~17:00)
2C5-44 依頼講演 ガス拡散電極食塩電解法の開発 (カネカ 化成事業部 技術統括部研究 G) 杉山幹人 (16:10~16:40)

2C5-47 口頭 C 講演 カーボンナノホーンを用いたフッ素貯蔵材料の研究開発-1 (信州大・ダイキン・名城大・名大・大陽日酸) ○服部義之・山本高大・柳澤真治・江藤友亮・磯貝智弘・板野充司・坂東俊治・山口貴司・飯島澄男・佐藤貴之・小林芳彦・多田益太・東原秀和 (16:40~17:00)

3月27日午前

資源を考慮した材料戦略

(9:30~9:40)

3C5-04 オーガナイザー挨拶 (東大生研) 岡部 徹 (09:30~09:40)

座長 多田 啓司 (9:40~11:00)
3C5-05 招待講演 レアメタルリサイクル技術の開発 (産総研環境管理技術) 田中幹也 (09:40~10:20)

3C5-09 招待講演 Nd 磁石から考えるエネルギー・材料戦略 (信越化学工業 磁性材料研究所) 美濃輪武久 (10:20~11:00)

座長 岡部 徹 (11:00~11:50)
3C5-13 基調講演 NdFeB 磁石と環境・資源テクノロジー (インターメタリックス) 佐川真人 (11:00~11:50)

3月27日午後

(12:50~13:50)

3C5-24 パネルディスカッション 資源を考慮した材料戦略 パネリスト: 佐川真人(インターメタリックス)・田中幹也(産総研)・美濃輪武久(信越化学工業)・宇田哲也(京大)・竹田 修(東北大)、コーディネーター: 岡部 徹(東大) (12:50~13:50)

座長 堀 久男 (13:50~15:50)
3C5-30 招待講演 希土類ハロゲン化物を利用した材料プロセス (京大院工) 宇田哲也 (13:50~14:30)

3C5-34 招待講演 溶融弗化物を用いた希土類磁石合金の精製リサイクル (東北大工) ○竹田 修・中野清貴・佐藤 謙 (14:30~15:10)

3C5-38 口頭 C 講演 酸化チタン光触媒を用いたヒ素の無毒化とレアメタルのリサイクル技術の開発 (日本板硝子研究開発部) ○中村浩一郎・山内 博 (15:10~15:30)

3C5-40 口頭 C 講演 細菌が作る驚きの無機・有機複合材料~その基礎・応用研究~ (岡山大院自然) ○橋本英樹・浅岡裕史・草野圭弘・久能 均・池田靖訓・妹尾昌治・中西 真・藤井達生・高田 潤 (15:30~15:50)

C6 会場

第4校舎独立館D202

微細パターン化技術の多様化と永続性

3月26日午前

ナノインプリント

(9:30~9:40)

2C6-04 オーガナイザー挨拶 (兵庫県大高度研) 松井真二 (09:30~09:40)

座長 松井 真二 (9:40~11:50)
2C6-05 基調講演 ナノインプリントの最新動向 (兵庫県大高度研) 松井真二 (09:40~10:30)

2C6-10 招待講演 ナノインプリントプロセスによる LED 高輝度化 (東芝機械) 後藤博史 (10:30~11:10)

2C6-14 招待講演 ロール光ナノインプリントによるモスアイ型無反射フィルムの製造 (三菱レイヨン) 魚津吉弘 (11:10~11:50)

3月26日午後

座長 中川 勝 (13:10~14:40)
2C6-26 招待講演 半導体量産対応インプリント・リソグラフィーの進展 (Molecular Imprints, Inc.) 和田英之 (13:10~13:50)

2C6-30 招待講演 ナノインプリントの物理化学とシミュレーション (阪府大院工) 平井義彦 (13:50~14:30)

2C6-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

座長 平井 義彦 (14:40~16:30)
2C6-35 招待講演 光ナノインプリントにおける界面機能分子制御 (東北大多元研) 中川 勝 (14:40~15:20)

2C6-39 依頼講演 ナノインプリント材料 (ダイセル) ○湯川隆生・三宅弘人 (15:20~15:50)

2C6-42 招待講演 光ナノインプリント (産総研マイクロシステム研究センター・JST-CREST) 廣島 洋 (15:50~16:30)

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

3月27日午後

座長 須貝 威 (13:00~13:40)
3C6-25 口頭 C 講演 セルロースナノファイバーを利用した超高感度バイオプロセスベクティング (海洋研究開発機構) ○津留美紀子・出口茂・名畑龍清・伊藤 進・掘越弘毅 (13:00~13:20)

3C6-27# 口頭 C 講演 自然免疫活性化物質と発酵食品 (阪大院理・鹿児島大院理工・福山物産・味香り戦略研究所) ○PRADIPTA, Ambara Rachmat・藤本ゆかり・橋本雅仁・菅 慎太郎・重久 浩・深瀬浩一 (13:20~13:40)

座長 鴻池 敏郎 (13:40~15:20)
3C6-29 基調講演 生物分子を基盤とした統合創薬科学 (長浜バイオ大) 木曾良明 (13:40~14:30)

3C6-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

3C6-35 依頼講演 ダイソーのバイオケミカルズ開発 (ダイソー) 鈴木利雄 (14:40~15:10)

3C6-38 インキュベーションタイム (15:10~15:20)

座長 須貝 威 (15:20~15:50)
3C6-39 依頼講演 合成微生物由来分子群による自然免疫応答の解析と制御 (阪大院理) 深瀬浩一 (15:20~15:50)

3月28日午前

座長 須貝 威 (9:30~10:10)
4C6-04 依頼講演 進化理論を元に新しい技術と産業を切り開く~ネオ・モルガン研究所の技術と実績~ (ネオ・モルガン研究所) 藤田朋宏 (09:30~10:00)

4C6-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

座長 秋吉 一成 (10:10~11:10)
4C6-08 基調講演 コンシューマーエレクトロニクス技術が拓く未来の医療 (ソニー先端マテ研) 安田章夫 (10:10~11:00)

4C6-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 菅 裕明 (11:10~12:00)
4C6-14 招待講演 微細藻類ユーグレナによる有用物質生産について (ユーグレナ) 出雲 充 (11:10~11:50)

4C6-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月28日午後

座長 渡邊 英一 (13:00~13:50)
4C6-25 招待講演 清酒醸造技術をバイオ燃料製造に活かす (月桂冠総合研究所) 秦 洋二 (13:00~13:40)

4C6-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

座長 菅 裕明 (13:50~14:40)
4C6-30 招待講演 セルロソーム生産嫌気性菌*Clostridium cellulovorans*による次世代型バイオリファイナリー研究開発 (三重大院生物資源) 田丸 浩 (13:50~14:30)

4C6-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

座長 跡見 晴幸 (14:40~15:40)
4C6-35 基調講演 自然に学ぶものづくり—高炭素技術が世界を救う! (産総研関西セ) 田口隆久 (14:40~15:30)

4C6-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

座長 渡邊 英一 (15:40~16:30)
4C6-41 招待講演 糸状菌の界面活性タンパク質による生分解性プラスチックの新規分解促進機構とその応用 (酒類総合研究所・東北大院農・東北大 NICHe) ○高橋 徹・阿部敬悦 (15:40~16:20)

4C6-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

座長 鴻池 敏郎 (16:30~17:00)
4C6-46 依頼講演 セルロース系バイオマス糖化技術開発 (三菱重工) ○源田 稔・近藤 岳・上原良介・鈴木英夫・寺倉誠一 (16:30~17:00)

C7 会場

第4校舎独立館D203

微細パターン化技術の多様化と持続性

3月26日午前

自己組織化による微細パターン形成

(9:50~10:00)

2C7-06 オーガナイザー挨拶 (名大院工) 関 隆広 (09:50~10:00)

座長 関 隆広 (10:00~12:00)

2C7-07 基調講演 Dewetting 現象を利用したパターン化とフォトニクスへの展開 (千歳科技大) ○オラフ カートハウス・清野裕司 (10:00~10:50)

2C7-12 招待講演 超微細インクジェットによるマイクロメートル領域の微細パターン形成 (産総研フレキシブルエレクトロニクス研究セ・SIJテクノロジー) 村田和広 (10:50~11:30)

2C7-16 依頼講演 有機/無機複合体における自己組織パターン構造の形成とその制御 (東大院工) ○西村達也・坂本 健・加藤隆史 (11:30~12:00)

3月26日午後

座長 早川 晃鏡 (13:00~15:10)

2C7-25 招待講演 ナノ粒子の形状と配列制御 (北大院工) 米澤 徹 (13:00~13:40)

2C7-29 依頼講演 半導体製造プロセス用自己組織化材料について (JSR) 下川 努・永井智樹・峯岸信也○浪江祐司 (13:40~14:10)

2C7-32 依頼講演 光を用いた分子拡散制御によるレリーフ形成 (横国大院工) 生方 俊 (14:10~14:40)

2C7-35 口頭C講演 表面処理によるジブロックコポリマーのマイクロ相分離構造の配列改善検討 (東芝研究開発センター) ○湯澤亜希子・木原尚子・山本亮介・鎌田芳幸 (14:40~15:00)

2C7-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)

座長 オラフ カートハウス (15:10~16:50)

2C7-38 招待講演 シルセスキオキサンを導入したブロック共重合体材料の開発と精密ナノパターン形成 (東工大院理工) 早川晃鏡 (15:10~15:50)

2C7-42 依頼講演 自己組織化による階層構造形成と表面・光機能への展開 (東北大多元研) 藪 浩 (15:50~16:20)

2C7-45 依頼講演 有機無機ハイブリッド材料の光配向操作とレリーフ形成 (名大院工) 関 隆広 (16:20~16:50)

3月27日午後

座長 大西 廉伸 (13:00~14:30)

3C7-25 パネルディスカッション 「微細パターン化技術の多様化と持続性」パネリスト:永原誠司 (東京エレクトロ)・古澤孝弘 (阪大)・松井真二 (兵庫県)・平井義彦 (阪府大)・オラフ カートハウス (千歳科技大)・関 隆広 (名大)、パネルディスカッションコーディネーター:大西廉伸 (東芝) (13:00~14:30)

3月28日午前

次世代リソグラフィ

(9:40~9:50)

4C7-05 オーガナイザー挨拶 (阪大産研) 古澤孝弘 (09:40~09:50)

座長 古澤 孝弘 (9:50~11:50)

4C7-06 基調講演 EUV リソグラフィの現状と課題 (EIDEC) 森 一朗 (09:50~10:40)

4C7-11 招待講演 EUV リソグラフィの実用化に向けて(EUV露光装置の最新開発状況) (エーエスエムエル・ジャパン) 宮崎順二 (10:40~11:20)

4C7-15 依頼講演 次世代リソグラフィ材料の開発状況 (東京応化工業) 佐藤和史 (11:20~11:50)

3月28日午後

座長 樽谷 晋司 (13:00~14:50)

4C7-25 招待講演 極端紫外線(EUVL)用分子レジスト材料の開発 (1Xnm以下の解像性をめざして) (神奈川大工) ○工藤宏人・西久保忠臣 (13:00~13:40)

4C7-29 依頼講演 EUV リソグラフィ材料の開発 -現状と今後- (JSR) 志水 誠 (13:40~14:10)

4C7-32 招待講演 レジスト高分子の放射線化学 (北大院工) ○岡本一将・住吉 孝 (14:10~14:50)

(14:50~15:00)

4C7-36 インキュベーションタイム (14:50~15:00)

座長 工藤 宏人 (15:00~16:30)

4C7-37 依頼講演 EUV用レジスト下層膜の開発 (日産化学工業・電子材料研究所) ○坂本力丸・何 邦慶・藤谷徳昌・遠藤貴文・大西竜慈 (15:00~15:30)

4C7-40 依頼講演 極端紫外光領域における解像度の波長依存性と材料設計 (阪大産研・EIDEC) ○古澤孝弘・井谷俊郎 (15:30~16:00)

4C7-43 依頼講演 ハーフピッチ 20nm以下に対応する EUV レジスト材料 (富士フイルム) 樽谷晋司 (16:00~16:30)

C8 会場

第4校舎独立館D205

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月26日午前

多様化する炭素資源にどう対応するか

座長 原 亨和 (9:00~10:50)

2C8-01 オーガナイザー挨拶 (東工大応セラ研) 原 亨和 (09:00~09:10)

2C8-02 基調講演 バイオリファイナリー産業の将来像 (地球環境産業技術研究機構) 湯川英明 (09:10~10:00)

2C8-07 招待講演 次世代液体バイオ燃料の現状と展望 (京大院エネルギー) 坂 志朗 (10:00~10:40)

2C8-11 インキュベーションタイム (10:40~10:50)

座長 坂 志朗 (10:50~12:10)

2C8-12 依頼講演 砂糖の工業化学原料としての過去・現在と今後、その可能性 (精糖工業会) 斎藤祥治 (10:50~11:20)

2C8-15 依頼講演 エネルギー植物栽培からエタノール製造までの一貫生産プロセス開発 (バイオエタノール革新技術研究組合) 杉原正樹 (11:20~11:50)

2C8-18 口頭C講演 金属酸化物触媒を用いるPETの化学分解法 (崇城大工) ○池永和敏・前原浩平・山本雅洋・出蔵 剛・亀山武彦 (11:50~12:10)

3月26日午後

座長 小堀 良浩 (14:50~16:20)

2C8-36 招待講演 九州大学における炭素資源研究への取り組み -炭素資源国際教育研究センターの活動を中心として- (九大炭素資源国際教育研究センター) ○林 潤一郎・平島 剛・松下洋介・寺岡靖剛 (14:50~15:30)

2C8-40 招待講演 非在来型石油天然ガス資源の現状 (石油天然ガス・金属鉱物資源機構) 伊原 賢 (15:30~16:10)

2C8-44 インキュベーションタイム (16:10~16:20)

座長 林 潤一郎 (16:20~17:30)

2C8-45 招待講演 水を水素源に用いた光触媒による水素製造と二酸化炭素固定化反応 (東理大理・東理大総研光触媒) 工藤昭彦 (16:20~17:00)

2C8-49 依頼講演 二酸化炭素由来脂肪族ポリカーボネートの研究開発動向と実用化への課題 (東理大工) 杉本 裕 (17:00~17:30)

D5 会場

第4校舎独立館D307

未来材料

3月25日午前

バイオミメティック材料とネイチャーテクノロジー

座長 下村 政嗣 (9:00~10:30)

1D5-01 基調講演 バイオミメティクスから生物規範工学へ:持続可能性へのゲームチェンジャー (東北大WPI-AIMR・東北大多元研) 下村政嗣 (09:00~09:50)

1D5-06 招待講演 生物規範光学材料:森の宝石の秘密 (浜松医科大) 針山孝彦 (09:50~10:30)

座長 針山 孝彦 (10:30~12:00)

1D5-10 依頼講演 モスアイ構造と逆問題について (東北大院情報) 久保英夫 (10:30~11:00)

- 1D5-13 依頼講演** 海洋生物に学ぶ防汚材料の設計と創製（北大院先端生命）室崎喬之・黒川孝幸○龔 劍萍（11:00～11:30）
- 1D5-16 依頼講演** 生物から学ぶマイクロ接着（物材機構）細田奈麻絵（11:30～12:00）

3月25日午後

- 座長 細田 奈麻絵（13:00～14:40）
- 1D5-25 依頼講演** 幹細胞メカノバイオメティックス：微視的培養力学場設計に基づく幹細胞分化プラストレーションの誘導（九大先端研）○木戸秋 悟・陣内秀平（13:00～13:30）
- 1D5-28* 招待講演** 生物規範感覚システム：昆虫の化学センシングを規範にして（神戸大院理）尾崎まみこ（13:30～14:10）
- 1D5-32 依頼講演** ネムリユスリカに学ぶ極限環境システム（農業生物資源研究所）奥田 隆（14:10～14:40）
- 座長 木戸秋 悟（14:40～16:10）
- 1D5-35 依頼講演** バイオメティック包接複合体の単結晶（九州先端研・リガク X 線研・九大院工・北大院理）○土屋陽一・白木智丈・松本孝史・杉川幸太・佐田和己・山野昭人・新海征治（14:40～15:10）
- 1D5-38 依頼講演** チューナブル構造色を有するオパールフォトニック結晶薄膜（物材機構）不動寺 浩（15:10～15:40）
- 1D5-41 依頼講演** ナノインプリントによる表面微細構造の形成（日立日立研）宮内昭浩（15:40～16:10）

- 座長 ぐん 劍萍（16:10～17:10）
- 1D5-44 依頼講演** 汎用元素を用いた動的はつ水／はつ油性表面の創製（産総研サステナブルマテリアル）浦田千尋・Dalton F. Cheng○穂積 篤（16:10～16:40）
- 1D5-47 依頼講演** 生物規範親水材料（LIXIL 水まわり総合技術研究所）井須紀文（16:40～17:10）

3月26日午前

バイオメティック材料とネイチャーテクノロジー

- 座長 穂積 篤（9:00～10:40）
- 2D5-01 招待講演** バイオメティックスと植物保護（京大院農・森林総研・東大先端研）○森 直樹・奥本 裕・三瀬和之・高梨琢磨・光野秀文・神崎亮平（09:00～09:40）
- 2D5-05 依頼講演** 昆虫インベントリーに基づくバイオメティック・データベース構築の試み（国立科学博物館）野村周平（09:40～10:10）
- 2D5-08 依頼講演** 魚類標本とバイオメティック・データベース（国立科学博物館）篠原現人（10:10～10:40）

- 座長 森 直樹（10:40～12:00）
- 2D5-11 依頼講演** バイオメティック・データベースとオントロジー（阪大産研）古崎晃司（10:40～11:10）
- 2D5-14 基調講演** 自然のすごさを賢く活かすものづくり - ネイチャー・テクノロジー -（東北大院環境）石田秀輝（11:10～12:00）

3月26日午後

- 座長 大園 拓哉（13:00～14:40）
- 2D5-25 招待講演** 自然に学ぶものづくりと企業活動（積水インテグレートドリサーチ）佐野健三（13:00～13:40）
- 2D5-29 依頼講演** 生物規範技術をどう展開するか、ナノテクノロジーからの教訓（産総研ナノシステム）○阿多誠文・関谷瑞木・安 順花（13:40～14:10）
- 2D5-32 依頼講演** バイオ TRIZ を利用した新規な機能材料の設計（新潟大工）山内 健（14:10～14:40）

- 座長 小林 元康（14:40～16:20）
- 2D5-35 依頼講演** 自己組織化プロセスの発生遺伝学的検討（北教大札幌）木村賢一（14:40～15:10）
- 2D5-38 招待講演** 生物規範飛行システム（千葉大院工）劉 浩（15:10～15:50）
- 2D5-42 依頼講演** 自己組織化マイクロリソグラフィと応用（産総研ナノシステム）大園拓哉（15:50～16:20）

- 座長 不動寺 浩（16:20～17:20）
- 2D5-45 依頼講演** 生体の水潤滑を規範としたポリマーブラシによる低摩擦表面（JST ERATO・九大先端研）○小林元康・高原 淳（16:20～16:50）
- 2D5-48 依頼講演** 自己組織化を応用したモスアイ構造の作製（三菱レイオン）魚津吉弘（16:50～17:20）

3月27日午前

超分子素子の開発へ向けた挑戦

- （9:50～10:00）
- 3D5-06 趣旨説明**（東工大資源研）山元公寿（09:50～10:00）

座長 山元 公寿（10:00～12:00）

- 3D5-07 基調講演** 配位プログラミングによる分子ネットワークの創製と化学素子へのアプローチ（東大院理）西原 寛（10:00～10:50）
- 3D5-12 依頼講演** ヘムタンパク質階層プログラミング：機能性バイオデバイスの創製（阪大院工）○小野田 晃・林 高史（10:50～11:20）
- 3D5-15 招待講演** セミウエットバイオ素子を目指した超分子ヒドロゲル（京大院工）浜地 格（11:20～12:00）

3月27日午後

- 座長 小野田 晃（14:20～15:30）
- 3D5-33 招待講演** 化学集積素子—化学と半導体との融合デバイス（名大院工）中里和郎（14:20～15:00）
- 3D5-37 依頼講演** 導電性高分子の自己組織化によるナノファイバー形成と分子素子への応用展開（東農大院 BASE）下村武史（15:00～15:30）

- 座長 谷口 正輝（15:30～16:40）
- 3D5-40 招待講演** 自己形成による溶液からの有機結晶成長とトランジスタ応用（物材機構 WPI-MANA・JST-CREST）塚越一仁・李 昉・劉 川・三成剛生（15:30～16:10）
- 3D5-44 依頼講演** 階層構造形成のための2次元超構造プラットフォームの作製（熊大院先端機構）吉本惣一郎（16:10～16:40）

- 座長 吉本 惣一郎（16:40～17:50）
- 3D5-47 依頼講演** 1分子科学と1分子技術（阪大産研）谷口正輝（16:40～17:10）
- 3D5-50 招待講演** ボトムアップ手法で精密に単電子トランジスタを組み上げる（東工大応セラ研）真島 豊（17:10～17:50）

P 会場 記念館

3月27日午後

（16:00～17:30）

微細パターン化技術の多様化と持続性

次世代リソグラフィ

- 3PD-001** EUV 化学増幅型レジストの脱保護反応・現像解析（阪大産研・東京応化）○山本洋揮・古澤孝弘・田川精一・三村岳由・岩井武・小野寺純一
- 3PD-002** 極端紫外自由電子レーザーによるレジスト高分子へのエネルギー付与（理研播磨・北大院工・阪大産研）○及川敬太・岡本一将・古澤孝弘・初井宇記・永園 充・亀島 敬・富樫 格・登野健介・矢橋牧名・木村洋昭・仙波泰徳・大橋治彦・石川哲也・藤吉亮子・住吉孝

ナノインプリント

- 3PD-003** 放射光を用いた超小角 X 線散乱測定による‘埋もれた’ナノインプリント構造の非破壊精密評価（九大院）○篠原貴道・村上大樹・星野大樹・小池淳一郎・堀米 操・高原 淳
- 3PD-004** 反応性イオンエッチング後の転写ピラー構造のヤング率の変化（兵庫県大）○姜 有志・岡田 真・春山雄一・松井真二

自己組織化による微細パターン形成

- 3PD-005** 自己組織化リソグラフィによるコンタクトホール縮小技術（東芝・東京エレクトロン・東京エレクトロン九州）○川西絢子・清野由里子・菅野正洋・佐藤寛暢・小林克稔・東 司・永原誠司・村松誠・北野高広・戸島孝之
- 3PD-006** ポリスチレンの選択的析出によるパターン作成（千歳科技大）○清野裕司・オラフ カートハウス
- 3PD-007** POSS 含有ブロック共重合体リソグラフィ材料の開発と精密ナノ周期構造の創製（東工大・日立製作所日立研究所・京大）○平野千春・三神 悠・佐藤泉樹・石田良仁・多田靖彦・吉田博史・竹中幹人・長谷川博一・早川晃鏡
- 3PD-008** バイオメティック系微細リソグラフィ加工技術を基盤とした多機能型フィルムの開発（東理大工）○遠藤洋史・田村真弘・前田泉・飯島貴之・河合武司

先端エレクトロニクス材料

OLED

- 3PD-009** マイクロ波合成法による高品質りん光錯体の合成と LC-TOF-MASS による精密分析（ミネルパライトラボ）○松村竹子・増田嘉

電子ペーパー

- 3PD-010** 発色性銀ナノ粒子薄膜のリライタブル性に関する研究 (東海大院工) ○鈴木隆晴・藤井快昌・尾仲祐羽子・前田秀一
- 3PD-011** 表示素子回転型電子ペーパーの災害・防災用途への展開 (東海大工) 伊藤大裕○前田秀一
- 3PD-012** I/O値を用いた電子ペーパー表示材料の設計 (東海大工) 須長裕貴○黒田章裕・前田秀一

プリントエレクトロニクス

- 3PD-013** 塗布適性を有する高速アリアルアミン正孔輸送性高分子 (富士ゼロックス) ○堀場幸治・広瀬英一・今井 彰・阿形 岳・関 三枝子・米山博人・佐藤克洋・真下清和
- 3PD-014** バイポーラー性を有するアリアルアミン電荷輸送材料 (富士ゼロックス・山形大) ○広瀬英一・阿形 岳・佐藤克洋・佐藤和昭・大場好弘
- 3PD-015** アルキルアミンを用いた金ナノ粒子の粒子径制御と熱的性質 (阪市工研) ○山本真理・柏木行康・斉藤大志・大野敏信・垣内宏之・吉田幸雄・中許昌美
- 3PD-016** Ag-Cu 二元系ナノ粒子から成る導電性ナノインクの開発 (阪市工研・大研化学工業) ○斉藤大志・山本真理・柏木行康・大野敏信・垣内宏之・吉田幸雄・中許昌美
- 3PD-017** 熱分解法による硫化ニッケルナノ粒子の合成と粒子径制御 (阪市工研) ○柏木行康・山本真理・斉藤大志・大野敏信・中許昌美
- 3PD-018** マイクロ波液中プラズマ法による銅微粒子の作製とその場加熱 TEM 観察 (菅製作所・アリオス・北大院工) ○成島 隆・小幡法章・吉岡隆幸・宮崎英機・菅 育正・佐藤 進・米澤 徹
- 3PD-019** 常温導電性金属ナノインクの合成と常温印刷有機デバイスへの展開 (岡山大 RCIS) ○金原正幸・竹谷純一・植村隆文・村田英幸・瀧宮和男・寺西利治
- 3PD-020** 電子材料用重合体被覆表面処理シリカファイラーの開発 (トクヤマ) ○藤岡宏昌・三上直樹・山下博也・坂田勘治
- 3PD-021** EDOT 含有ポリチオフェンの合成と物性 (広島大院工) ○今栄一郎・真島隆浩・駒口健治・大山陽介・播磨 裕
- 3PD-022** PEDOT-SiO₂複合膜の作製と高強度透明導電膜への応用 (広島大院工・クラレ) ○今栄一郎・中村悠人・駒口健治・大下浄治・森原 靖・杉岡 尚・播磨 裕
- 3PD-023** プリントエレクトロニクス用銀ナノ粒子ペーストの開発とスクリーン印刷による微細配線形成 (阪市工研・大研化学工業) ○中許昌美・柏木行康・山本真理・斉藤大志・大野敏信・垣内宏之・吉田幸雄
- 3PD-024** ロール・トゥ・ロール ナノインプリントによるサブ 100 nm パターン形成 (東芝研究開発センター) ○稲浪良市・小島智子・松木一人・河野拓也・中杉哲郎

未来を創る環境・資源テクノロジー

革新的省エネ・省資源技術

- 3PD-025** 環境負荷低減を指向したイオン半導体および関連技術の開発と応用 (イオン化学・首都大産技高専品川) 荻野 仁○田村健治
- 3PD-026** 安定化次亜塩素酸水を基盤とする衛生管理および防疫対策 (首都大産技高専品川) ○田村健治
- 3PD-027** 自動炭化装置を基盤とする廃棄物由来の炭化物を用いた屋上緑化事業 (首都大産技高専品川) ○田村健治
- 3PD-028** モノリス状イオン交換体の合成と特性 (オルガノ) ○中村彰・高田 仁・山中弘次・井上 洋
- 3PD-029** アクリルアミドを高選択的に製造する錯体触媒法 (岡山大院自然) ○押木俊之・川上由起子・村中 誠
- 3PD-030** カーボンナノホーンを用いたフッ素貯蔵材料の研究開発-2 (信州大・ダイキン・名城大・名大・太陽日酸) ○服部義之・山本高大・柳澤真治・江藤友亮・磯貝智弘・板野充司・坂東俊治・山口貴司・飯島澄男・佐藤貴之・小林芳彦・多田益太・東原秀和
- 3PD-031** カスケード型連続環化反応を用いた高効率のスピロケタール骨格合成法の開発 (富山大院理工・富山大理) 宮澤真宏・三箇剛生・中村 翔○吉原祥子・横山 初・平井美朗

資源を考慮した材料戦略

- 3PD-032** マンガン酸化細菌が作るマンガン酸化物～その基礎・応用研究～ (1) 形態的・構造的特徴について (岡山大院自然) ○木村倫康・橋本英樹・宮田直幸・古谷充章・仁科勇太・中西 真・藤井達生・高田 潤
- 3PD-033** マンガン酸化細菌が作るマンガン酸化物～その基礎・応用研究～ (2) 炭化水素ハロゲン化触媒特性について (岡山大異分野コア) ○仁科勇太・橋本英樹・木村倫康・宮田直幸・大谷文章・高田 潤
- 3PD-034** 鉄酸化細菌が作る驚きの無機・有機複合材料～その基礎・応用研究～ (1): 固定化触媒への応用 (岡山大院自然) 依馬 正・宮崎祐樹○谷口智也・萬代恭子・是永敏伸・酒井貴志・橋本英樹・高田 潤
- 3PD-035** 鉄酸化細菌が作る驚きの無機・有機複合材料～その基礎・応用研究～ (2): 微生物由来非晶質ナノ酸化鉄からのヘマタイト赤色顔料の作製・微細構造と色特性 (岡山大院自然) ○橋本英樹・浅岡裕

史・中野拓也・草野圭弘・石原博道・池田靖訓・中西 真・藤井達生・難波徳郎・高田 潤

- 3PD-036** 鉄酸化細菌が作る驚きの無機・有機複合材料～その基礎・応用研究～ (3): 微生物由来非晶質ナノ酸化鉄からのシリカの作製とその特徴 (岡山大院自然) ○板谷篤司・橋本英樹・工藤孝幸・妹尾昌治・黒田泰重・高田 潤
- 3PD-037** 硬化型材料へのポリマー微粒子技術の利用について (カナコ) ○宮本正広
- 3PD-038** 表面開始重合により調製したポリ(α-メチレン-γ-ブチロラクトン)高密度ブラシ薄膜の耐摩耗性 (九大先導研) ○檜垣勇次・岡崎亮輔・高原 淳
- 3PD-039** 白金代替触媒材料に対する触媒毒の影響 (都産技研) ○萩原利哉・染川正一・小島正行・藤井恭子・篠田 勉
- 3PD-040** Co,Ce 系酸化物成形触媒(ペレットやハニカム型)の作製と悪臭処理への応用 (東京都立産業技術研究センター) ○染川正一・萩原利哉・藤井恭子・小島正行・篠田 勉・堂合一成
- 3PD-041** 酸化チタン光触媒を用いたヒ素の無毒化とレアメタルのリサイクル技術の開発 (日本板硝子研究開発部) ○中村浩一郎・山内 博

多様化する炭素資源にどう対応するか

- 3PD-042** リグノセルロースの常温全量資源化～成分分離と機能制御の同時プロセス～ (三重大院生物資源) 船岡正光○青柳 充・野中寛・三魚啓吾
- 3PD-043** 金属酸化物触媒を用いる PET の化学分解法 (崇城大工) ○池永和敏・前原浩平・山本雅洋・出蔵 剛・亀山武彦
- 3PD-044** 無色透明高耐熱バイオマスポリマーフィルムの開発 (富士フィルム有機合成研究所) ○上平茂生・芳谷俊英・佐久間俊光・塚田芳久

次世代エネルギー技術 ～分散型エネルギー社会を目指して～

燃料電池・水素エネルギー技術

- 3PD-045** ナノ構造制御した PEFC 用電極触媒材料の検討ーPt 合金/メソポーラスカーボンー (九大) ○林 灯・REINHARD, Patrick・佐々木一成
- 3PD-046** SnO₂担体を用いた PEFC 用高耐久性電極触媒の開発 (九大) ○塚常拓也・高島悠真・神田康平・林 信吾・高崎文彰・野田志雲・谷口俊輔・白鳥祐介・林 灯・佐々木一成
- 3PD-047** 異なるナノ構造を有するカーボン担体を用いた PEFC 用電極触媒の性能評価 (九大) ○趙 暁静・野田志雲・林 灯・佐々木一成
- 3PD-048** 固体酸化物形燃料電池における硫黄系不純物による性能低下現象の検証 (九大・水素利用プロセス研) ○立川雄也・芳住知勇・細井貴己・白鳥祐介・佐々木一成
- 3PD-049** 新規スルホン酸化ポリエーテルブロック共重合体膜の合成と特性評価 (山梨大クリエネ研・山梨大燃電ナノ研) ○星 高行・妻柄賢・宮武健治・渡辺政廣
- 3PD-050** 主鎖にフッ素を含有したアニオン導電性ブロック共重合体膜の合成と評価 (山梨大クリエネ研・山梨大燃電ナノ研) ○小野英明・妻柄賢・宮武健治・渡辺政廣

次世代太陽光発電技術

- 3PD-051** 屋内向け高効率色素増感太陽電池の開発 (フジクラ 環境エネルギー研) ○遠藤克佳・岡田顕一・松井浩志・田辺信夫

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

グリーンバイオ

- 3PD-052** セルロースナノファイバーを利用した超高感度バイオプロセス (海洋研究開発機構) ○津留美紀子・出口 茂・名畑龍清・伊藤 進・掘越弘毅
- 3PD-053** 生体触媒を用いた低環境負荷 12-アミノドデカン酸製造プロセスの開発 (宇部興産有機化学研・富山県大生物工学研究セ) ○吉田洋一・浅野泰久

フロンティアバイオ

- 3PD-054** プラズマモニクチップ上で培養した神経細胞の高感度蛍光顕微鏡観察 (産総研・関西大・北大電子研) 安井 力○田和圭子・細川千絵・西井準治・青田浩幸・松本 昭
- 3PD-055** うつ病候補マーカーである BDNF の酸化亜鉛コーティングプラズマモニクチップを用いた迅速・高感度検出 (産総研・関西大・東北大) ○佐藤茉莉・田和圭子・上垣浩一・原 とも子・梅津光央・中澤 光・熊谷 泉・青田浩幸・松本 昭・小島正己
- 3PD-056** キラル医薬品やタンパク質計測にむけた立体配座コード構造パターン解析技術 (産総研) ○和泉 博
- 3PD-057** 異なる内外表面をもつ有機ナノチューブ: 生体材料や薬物などを包み、保護し、放出するナノカプセル (産総研ナノチューブ応用研セ) ○増田光俊・丁 武孝・亀田直弘・南川博之・清水敏美
- 3PD-058** 機能性蛍光磁性ビーズを利用する疾患マーカーの高速・高精度検出システムの開発 (東大院生命科学工・東工大ソリューション研

- 究機構) ○坂本 聡・内藤靖之・河田慎太郎・望月勇輔・岸 寛・畠山 士・半田 宏
- 3PD-059** RaPID システムを用いて探索した肝細胞成長因子受容体 c-Met 結合ペプチド (東大院理) ○伊藤健一郎・菅 裕明
- 3PD-060** 翻訳後環化酵素: アゾリン骨格含有分子の高汎用性合成ツール (東大院理・JST さきがけ・東大院工) ○後藤佑樹・伊藤悠美・菅裕明
- 3PD-061** 特殊ペプチドスクリーニング技術 RaPID システムのサーチュイン阻害剤開発への応用 (東大工) ○森本淳平・林 勇樹・菅 裕明
- 3PD-062** 超高輝度生物発光酵素の樹立とバイオアッセイへの展開 (産総研) ○金 誠培・鳥村政基・田尾博明
- 3PD-063** マイクロ血球分離デバイスの開発 (名大院工・名大革新ナノバイオ研セ) ○伊藤 聡・安井隆雄・岡本行広・加地範匡・渡慶次学・馬場嘉信
- 3PD-064** 講演中止
- 3PD-065** マイクロデバイスと ICP-MS を組み合わせた単一細胞解析法の開発 (名大工) ○宮崎義之・安井隆雄・稲垣和三・岡本行広・加地範匡・梅村知也・渡慶次 学・馬場嘉信
- 3PD-066** ナノワイヤデバイスをを用いた生体分子の分離 (名大工・名大革新ナノバイオ研セ) ○呉 瓊・本山高貴・安井隆雄・Sakon, Rahong・柳田 剛・金井真樹・岡本行広・加地範匡・渡慶次 学・長島一樹・川合知二・馬場嘉信
- 3PD-067** α ヘリックス細胞挿入ペプチド-金ナノ粒子複合体は低濃度で細胞導入される (東工大院生命理工) 朴 惠珍・高橋 剛○堤 浩・三原久和
- 3PD-068** モノクローナル抗体を用いた海洋毒シガトキシンの微量検出法の開発 (阪府大院理・東北大院理) ○円谷 健・山下修治・平間正博・藤井郁雄
- 3PD-069** テロメラーゼ活性を指標とした簡易口腔癌診断装置の開発 (九工大) ○佐藤しのぶ・森 久美子・兒玉正明・土生 学・西原達次・富永和宏・竹中繁織
- 3PD-070** デンドリマー界面によるタンパク質 大腸菌の吸着制御-2 (九大工) ○杉本雅志・武井孝行・星野 友・三浦佳子
- 3PD-071** 温度応答性を有する生体高分子認識ナノ粒子の相転移点付近における結合速度加速効果 (九大工) ○仲本正彦・星野 友・三浦佳子